

2 專門基礎科目 (三学科共通)

専門基礎科目

科目名	頁
保健医療論	1
生命医療倫理学	3
心理学	5
臨床心理学	7
カウンセリング論	10
人間発達学	12
生体形態学	14
生体機能学Ⅰ	20
生体機能学Ⅱ	23
栄養代謝学	25
臨床栄養学	28
免疫と微生物	30
生体形態学実習	34
生体機能学演習	37
薬理学	40
臨床薬理学	43
薬理・臨床薬理学	46
病理学	49
成人老年疾病論Ⅰ	53
成人老年疾病論Ⅱ	57
成人老年疾病論Ⅲ	61
リハビリテーション概論	64
救急医療学	67
生殖遺伝学	70
基礎保健学	72
保健統計学	74
国際保健論	77
チーム医療論	79
高次脳機能障がい論	82
精神障がい論	84
小児疾病論	87
運動器障がい論	90
発達障がい論	93
神経障がい論	96
社会福祉論	98

授業科目	保健医療論	科目英語表記	Health Science		
職名、担当教員氏名	教授 佐藤 寿晃 教授 遠藤 恵子 准教授 丹野 克子				
科目責任者氏名	佐藤 寿晃				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	看護－必修 理・作－選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	保健医療の概念やシステムの現状と課題を教授し、保健医療分野の水準の向上に貢献する意欲を涵養する。				
到達目標	1. 保健医療の概念と歴史の変遷を説明できる。 2. 保健医療の人的要素やシステムを説明できる。 3. 保健医療分野の水準の向上に貢献する方策を、自身の専門職の役割の視点で考察できる。				
成績評価方法	課題レポート（100％）				
成績評価基準	レポート 到達目標 1、2 A；保健医療の概念と歴史の変遷、人的要素やシステムを適切に十分に説明できる。 B；保健医療の概念と歴史の変遷、人的要素やシステムを適切に説明できる。 C；保健医療の概念と歴史の変遷、人的要素やシステムを説明できるがやや不十分で不十分。 D；保健医療の概念と歴史の変遷、人的要素やシステムを説明するが不十分。 F；保健医療の概念と歴史の変遷、人的要素やシステムを説明できない。 到達目標 3 A；現状と課題を適切にふまえ、保健医療の水準の向上に向けた方策を具体的に考察できる B；現状と課題を適切にふまえ、保健医療の水準の向上に向けた方策を考察できる C；現状と課題をふまえ、保健医療の水準の向上に向けた方策を考察できる D；保健医療の水準の向上に向けた方策を述べているが、根拠が不足 F；保健医療の水準の向上に向けた方策が考察できていない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	健康とは、社会と健康	健康とは 健康の概念 社会と健康	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	上月
2	医療の歴史・研究と実践	医療の歴史 研究とは 実践とは 研究と実践の関係	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
3	日本の医療制度	医療システム 医療政策	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
4	公衆衛生と保健	疾病予防 健康増進	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	石川
5	医療における倫理	生命倫理 患者の権利 インフォームド・コンセント 守秘義務	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
6	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステム 多職種連携	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	丹野
7	保健医療専門職の役割	看護職 理学療法士 作業療法士	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 丹野
8	海外の保健医療福祉	海外の保健医療福祉の実際	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	外部講師

日付
6. 4.18 (木) 4
6. 4.25 (木) 4
6. 5. 2 (木) 4
6. 5. 9 (木) 4
6. 5.16 (木) 4
6. 5.23 (木) 4
6. 5.30 (木) 4
6. 6. 6 (木) 4

教科書	なし
参考書	授業内で紹介する
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護4/理学3/理学5/理学6/作業4/作業5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	遠藤：研究室20 kendo@yachts.ac.jp 佐藤：研究室37 tsato@yachts.ac.jp 丹野：研究室6 ktanno@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	生命医療倫理学	科目英語表記	Biomedical Ethics		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 清水 哲郎				
科目責任者氏名	清水 哲郎				
学内連絡教員氏名	遠藤和子：研究室13 kaendo@yachts.ac.jp				
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必須		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	生命を研究しその成果を社会のために使おうとする生命科学技術に関して、医学・医療を中心にそうした科学技術に関わる際の倫理を概観する。生命の扱い方によっては大きな害をもたらす恐れがある。ことに人間の生命は、その尊厳ある人生を支えるものとして適切に対応する必要がある。適切な対応を考えるのが倫理である。				
到達目標	生命科学技術の発達に伴って生じた「できるようになったが、やってよいだろうか」という問いとそれへの対応の基礎を理解し、関係する問題を考えることができる。尊厳ある人生を支える専門職に必要な倫理の基礎を理解し、医療・ケア等の活動の倫理面に配慮できる。				
成績評価方法	方針：生命医療倫理学について理解したかどうかに加え、理解したことを使って考えられるようになったかどうかを評価する。 方法：授業毎に出す練習問題や課題への取り組み（30%）と期末試験(70%)により評価する。 基準：上記2項目を合わせて100点満点として評価する				
成績評価基準	各到達目標について、 特に優れている； 適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる 優れている； 根拠を踏まえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	倫理一般と生命医療倫理(1)	社会のメンバー全てに該当する倫理の基礎・講義とワーク(以下同じ)	講義、ワーク	予習・復習：教科書の第1、7章	清水
2	倫理一般と生命医療倫理(2)	倫理一般の理解をベースにして、生命倫理・医療倫理の基礎を理解する	講義、ワーク	同上 第8、9章	清水
3	生命科学技術の発達と倫理(1)	生命&ヒトを対象とする研究：被験者保護、自然への影響	講義、ワーク	別に配布する講義ノートを予習・復習	清水
4	生命科学技術の発達と倫理(2)	社会に寄与する研究成果：関係者の益と害：人工授精、代理母、遺伝子操作、脳死と臓器移植など	講義、ワーク	同上	清水
5	医療・ケアの倫理(1)	医療・ケア活動の倫理原則(人間尊重・与益・社会的適切さ)；ケアの倫理	講義、ワーク	教科書 第9、10章	清水
6	医療・ケアの倫理(2)	倫理原則と倫理的姿勢、倫理的に適切な選択・行動の考え方, 倫理的ジレンマ	講義、ワーク	同上 第9章④ 他	清水
7	臨床倫理(1)	人のWell-Being を目指すことを巡って：人生と生命、QOL, 相応性原則	講義、ワーク	同上 第11章	清水
8	臨床倫理(2)	意思決定プロセス：パターナリズム. Informed consent, 説明同意モデル, 情報共有合意モデル, 意思決定支援	講義、ワーク	同上 第12章	清水
日付					
6.4.19 (金) 3					
6.4.19 (金) 4					

6.4.26 (金) 3
 6.4.26 (金) 4
 6.5.10 (金) 3
 6.5.10 (金) 4
 6.5.17 (金) 3
 6.5.17 (金) 4

教科書	清水哲郎『医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学』医学書院、2022年
参考書	清水・会田・田代編著『臨床倫理の考え方と実践』東京大学出版会、2022年
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護2／看護4／看護6／看護7
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	清水哲郎：shimizu@iwate-uhms.ac.jp 岩手保健医療大学 臨床倫理研究センター
備考	

授業科目	心理学	科目英語表記	Psychology
職名、担当教員氏名	非常勤講師 志水 貴紀 非常勤講師 佐竹 真次		
科目責任者氏名	志水 貴紀		
学内連絡教員氏名	安保寛明：研究室15 hambo@yachts.ac.jp		
学科／分野	看護学科	学年	1年
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	選択
授業形態	講義	開講時期	前期
		単位数	2単位
授業概要	心理学は学習心理学や教育心理学、認知心理学等のさまざまな分野に発展的に分岐しているが、この科目ではそれらの基本となる基礎心理学（一般心理学）を概論する。しかし、単に理論を講じるだけではなく、人間の心理や行動に関する具体的ケースを提示し、実質的な理解を深める。なお、本講義の第5回から、第11回はオンデマンド動画配信による講義となる。		
到達目標	到達目標1：心理学における基礎的知識を理解して述べるができる。 到達目標2：心理学の知識を使った手法を用いることができる。 到達目標3：心理的諸機能を理解し、社会、他者とのかわりを学ぶ。		
成績評価方法	授業参加度：毎回、ミニッツペーパーなどを使用。ミニッツペーパーの内容、および、授業中の発言、質問などの授業参加度に応じて、評価します。(30点) 到達目標3を評価 理解度チェック（試験等）：(70点) 到達目標1, 2を評価		
成績評価基準	特に優れている；心理学の基礎的知識、手法を十分に理解できていて、社会、他者とのかわりを学ぶことができている。 優れている；心理学の基礎的知識、手法を十分に理解できている。 良好である；心理学の基礎的知識、手法を基本的に理解できている。 最低限の到達；心理学の基礎的知識、またはその手法の、どちらかの理解が不十分である。 目標に到達していない；心理学の基礎的知識、手法もどちらも理解ができていない。		

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	心理学の意義と方法	公共性、反復性、体系性等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
2	学習	三項随伴性、弁別、強化、般化等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
3	行動	オペラントとレスポナント等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
4	カウンセリング	カウンセリングスキル、非言語的手法	講義、演習	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
5	感覚	モダリティの決定因、刺激閾、弁別閾	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
6	知覚・認知	図と地、群化の要因等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
7	記憶	記銘、保持、検索等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
8	情動	感情、情動発生の主要なモデル	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
9	動機づけ	動機と葛藤と行動等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
10	言語・概念・思考	失語症、概念学習、思考の発達等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習	佐竹

				しておく。	
11	知能・パーソナリティ	知能テスト、パーソナリティ・テスト等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
12	集団と人間関係	偏見、リーダーシップ理論等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
13	発達	発達の定義・段階、発達の障がい	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
14	心理アセスメント	心理アセスメント、心理療法等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
15	総まとめ	これまでの学習の検討	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水

日付

6.4. 8 (月) 4
6.4.15 (月) 4
6.4.22 (月) 4
6.5.13 (月) 4
6.5.20 (月) 4
6.5.27 (月) 4
6.6. 3 (月) 4
6.6.10 (月) 4
6.6.17 (月) 4
6.6.24 (月) 4
6.7. 1 (月) 4
6.7. 8 (月) 4
6.7.22 (月) 4
6.7.22 (月) 5
6.7.29 (月) 4

教科書	教科書：内山靖・藤井浩美・立石雅子（編）リハベーシック 心理学・臨床心理学（医歯薬出版）
参考書	参考図書：Smith,E.E.（著）内田一成（監訳）ヒルガードの心理学（ブレーン出版） 大川一郎ら（編著）医療現場で役立つ心理学（ミネルヴァ書房）
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	第1回から第4回、第12回から第15回は、通常講義形式で、志水が対面で講義。 第5回から第11回は、オンデマンド動画配信方式で、佐竹先生が担当する。 オンデマンド形式の授業であっても質問は受け付ける。

授業科目	臨床心理学	科目英語表記	Clinical Psychology		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 志水 貴紀				
科目責任者氏名	志水 貴紀				
学内連絡教員氏名	安保寛明：研究室15 hambo@yachts.ac.jp				
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	臨床心理学は、応用心理学に位置付けられ、人の心理的状态・障がいのアセスメントとその改善・治療を目的とする実践的心理学である。この科目ではそれらの基本となる心理検査によるアセスメントと、各種の心理臨床技法を紹介する。また、それらに関連づけながら臨床心理学の対象となる障がいを、事例を含めながら紹介し、課題を通してその内容の理解を一層深める。				
到達目標	到達目標1：各種の性格検査を実施し、採点、解釈ができる。また、知能検査の解釈を理解して述べることができる。 到達目標2：非言語的技法にも配慮しながら、カウンセリングスキルを用いることができる。 到達目標3：発達障害、統合失調症など、各種の症状について理解し、そのアプローチについて述べるができる。				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参加度：毎回、ミニッツペーパーを使用。ミニッツペーパーの内容、および、授業中の発言などの授業参加度に応じて、評価します。(25点) 到達目標1、2、3を評価 ・ 理解度チェック（試験等）：授業の最初に、それまでの講義内容の理解を確認するミニテストを数回実施。このテスト結果を50点分に換算します。(50点) 到達目標1、2、3を評価 ・ レポート：講義最終回にレポート課題を提示します。(25点) 到達目標2を評価 <p>上記の3つを総合して成績評価を行う。</p>				
成績評価基準	<p>特に優れている；各種の症状、および、そのアプローチを十分に理解できていて、使いこなすことができている。</p> <p>優れている；各種の症状、および、そのアプローチを十分に理解できている。</p> <p>良好である；各種の症状、および、そのアプローチを基本的に理解できている。</p> <p>最低限の到達；各種の症状、および、そのアプローチの方法の、どちらかの理解が不十分である。</p> <p>目標に到達していない；各種の症状、および、そのアプローチの方法も理解ができていない。</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	臨床心理学的自己理解1	内田クレペリン検査、矢田部ギルフォード性格検査、エゴグラムなど	講義	各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
2	臨床心理学的自己理解2	SCT、バウムテスト、ロールシャッハテスト等	講義、演習	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
3	臨床心理学的自己理解3	クレペリンテスト、知能検査、発達検査等	講義、演習	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
4	臨床心理学技法1	カウンセリングスキル等(非言語的技法と自己理解)	講義、演習	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
5	臨床心理学技法2	カウンセリングスキル等(言語的技法)	講義、演習	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
6	臨床心理学技法3	精神療法、行動療法、認知行動療法、自律訓練法、系統的脱感作法	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
7	臨床心理学事例研究1	強迫性障がい、不安障がい、身体表現性障がい	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の	志水

				箇所を事前に読んで予習しておく。	
8	臨床心理学事例研究2	性同一性障がい、解離性障がい、パーソナリティ障がい	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
9	臨床心理学事例研究3	摂食障がい、不登校等	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
10	臨床心理学事例研究4	統合失調症と社会生活支援	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
11	臨床心理学事例研究5	自傷、依存症、気分障がい、てんかん等	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
12	臨床心理学事例研究6	自閉症、ADHD、学習障がい等	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
13	臨床心理学事例研究7	発達障がい児者への臨床心理学的介入	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
14	臨床心理学事例研究8	老化による障がい、モーニングワーク(喪の作業)等	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
15	講義のまとめ	臨床心理学的教養の応用	講義	前回講義の復習、および各回の学習内容にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
日付					

教科書	内山靖・藤井浩美・立石雅子(編) リハベーシック心理学・臨床心理学(医歯薬出版)
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1/理学5/作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	6.09.30(月)2 6.10.07(月)2 6.10.21(月)2

6.10.28 (月)2
6.11.11 (月)2
6.11.18 (月)2
6.11.25 (月)2
6.12.02 (月)2
6.12.09 (月)2
6.12.16 (月)2
6.12.23 (月)2
7.01.06 (月)2
7.01.20 (月)2
7.01.21 (火)2
7.01.27 (月)2

授業科目	カウンセリング論	科目英語表記	Counseling
職名、担当教員氏名	非常勤講師 志水 貴紀		
科目責任者氏名	志水 貴紀		
学内連絡教員氏名	安保 寛明		
学科／分野	看護学科	学年	2年
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	選択
授業形態	講義／演習	開講時期	前期
		単位数	1単位
授業概要	看護は、単に医療技術の提供のみならず、患者とのコミュニケーションも必須となってくる。そのコミュニケーションは単なる雑談ではなく、治療の促進につながるものでなくてはならない。この授業では、コミュニケーションの1つの方法として、傾聴と共感を基本とする非指示的カウンセリングを中心に、他にいくつかの発展的技法についても伝えていく。		
到達目標	到達目標1：カウンセリングの仕組み、基本的態度、基本的スキル、その他の発展的技法について理解して述べることができる。 到達目標2：患者とのコミュニケーションを取る際に、基本的な言語的カウンセリング技法を使うことができる。 到達目標3：患者とのコミュニケーションを取る際に、非言語的技法にも配慮することができる。		
成績評価方法	授業参加度：毎回、ミニッツペーパーを使用。ミニッツペーパーの内容、および、授業中の発言などの授業参加度に応じて、評価します。(35点) 到達目標1を評価 レポート：講義最終回にレポート課題を提示します。(65点) 到達目標2, 3を評価		
成績評価基準	特に優れている；言語的技法を理論的根拠をもとにして、使うことができている、非言語的技法にも配慮ができている。 優れている；言語的技法を使うことができている、非言語的技法にも配慮ができている。 良好である；言語的技法を使うことができている 最低限の到達；言語的技法を最低限のレベルで使うことができている。 目標に到達していない；言語的技法を使うことができている。		

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	カウンセリングとは	「カウンセリング」の概念を理解する。また、看護師国家試験の中からカウンセリングに関する問題を解いて、カウンセリングの位置づけを確認する。	講義	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水
2	カウンセリングの外的枠組みと自己理解	部屋の設定や座り方、対人的距離、声の大きさやトーン、話の間の置き方などを演習を通して学ぶ。また、聞き手である自分の特徴を把握する。	講義、演習	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水
3	カウンセリングの言語的技法	受容や共感等の基本的態度と、開いた質問や繰り返しの基本的技法について演習を通して理解する。	講義、演習	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水
4	さまざまな手法の紹介	認知行動療法、描画、コラージュなどのカウンセリングを使ったさまざまな手法を理解する。	講義、演習	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水
5	スクールカウンセリングの実際の事例Ⅰ	担当教員が実際に行った事例を紹介。実際事例を通して、生徒の心の変化を考えていく。	講義	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水
6	スクールカウンセリングの実際の事例Ⅱ	担当教員が実際に行った事例を紹介。実際事例を通して、生徒の心の変化を考えていく。	講義	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水
7	医療コミュニケーション	医療場面で取り交わされるコミュニケーションの中から、障害受容の場面、対家族を交えた事例をもとに看護におけ	講義	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水

		るカウンセリングの進め方を考える。			
8	まとめ	授業内容の要点を再確認する。	講義	自らの日常生活における様々な体験が重要な材料となるので、それらを授業に活かすよう心がける。	志水

日付

6.4. 8 (月) 2
6.4.12 (金) 2
6.4.15 (月) 2
6.4.19 (金) 2
6.4.22 (月) 2
6.4.26 (金) 2
6.5.10 (金) 2
6.5.13 (月) 2

教科書	特に使用しない。担当教員が資料を用意する。第2回目の授業で、本講義で取り扱う内容についての別冊資料を配布するので、そちらを毎回の授業では忘れずに持参すること。
参考書	・菊池恵美子 他編,作業療法を観る,シービーアール,2017 ・小島道代 他編,ナースだからこそできる5分間カウンセリング
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	

授業科目	人間発達学	科目英語表記	Human Development		
職名、担当教員氏名	教授 佐藤 寿晃 教授 渡部 潤一				
科目責任者氏名	佐藤 寿晃				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	看護－選択 理・作－必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	人間の生涯発達について概観する中で、各段階に見られやすい発達の特徴を検討していく。しかし、単に理論を講じるだけではなく、人間の発達の問題に関する具体的なケースを提示し、現代までに蓄積されてきた発達学の観点からグループ・ディスカッションを行い、実質的に理解を深める。				
到達目標	1 発達の原理と発達に関わる主要な概念について述べるができる。2 人間の胎児と母親との交流、胎児期の危険因子について述べるができる。3 反射と随意運動、新生児の知覚、感覚剥奪の影響について述べるができる。4 乳児期の正常運動発達と運動発達障がいについて述べるができる。5 アタッチメントと人見知り、愛着と応答性、同化と調節について述べるができる。6 父親の役割、性役割、退行現象、第一反抗期と対処について述べるができる。7 社会性と遊び、情緒的共感、自己中心性、前操作期について述べるができる。8 親の養育態度と子ども虐待、レジリエンスの育成について述べるができる。9 発達障がいのアセスメント、知能検査の仕組みと方法について述べるができる。10 発達障がいの早期発見・介入、社会生活・就労支援について述べるができる。11 不登校、対人恐怖、摂食障がい、パーソナリティ障がいなどについて述べるができる。12 自我同一性、青年の性役割、親からの自立、適応機制について述べるができる。13 親密性、生殖性、うつ病、依存症、タイプA 性格などについて述べるができる。14 老年の記憶機能・知能・認知の特徴、離脱・活動理論について述べるができる。15 人間の生涯発達、自分自身の人生プランについて考えを述べるができる。				
成績評価方法	理解度チェック（定期試験）（80%） 到達目標に関するレポート等（20%）				
成績評価基準	到達目標1から15を評価 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明（表現）できる 優れている；根拠をふまえて論理的に説明（表現）できる 良好である；根拠を用いてある程度論理的に説明（表現）できる 最低限の到達；根拠は乏しいがある程度論理的に説明（表現）できる 目標に到達していない；説明（表現）できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	発達の原理	発達の原理に関わる主な理論	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
2	胎児期	胎児・母親の交流、胎児期危険因子	スライド資料に基づいて学習内容を解説するとともにグループ・ディスカッションを行う。	講義終了後に復習してください。	渡部
3	新生児期	反射、新生児の知覚、感覚剥奪等	スライド資料に基づいて学習内容を解説するとともにグループ・ディスカッションを行う。	講義終了後に復習してください。	渡部
4	乳児期 1	正常運動発達と運動発達障がい等	スライド資料に基づいて学習内容を解説するとともにグループ・ディスカッションを行う。	講義終了後に復習してください。	渡部
5	乳児期 2	アタッチメント、愛着、同化と調節等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	貴田
6	幼児期	性役割、退行現象、第一反抗期等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	貴田
7	児童期	社会性、自己中心性、前操作期等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	貴田
8	発達と養育	子ども虐待、レジリエンス等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤、スポット

9	発達の障がい 1	発達障がいのアセスメント	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	貴田
10	発達の障がい 2	早期発見・介入、社会生活・就労等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	貴田
11	思春期	不登校、対人恐怖、摂食障がい等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤、スポット
12	青年期	自我同一性、適応機制等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤、スポット
13	成人期	親密性、生殖性、うつ病、依存症等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤、スポット
14	老年期	老年の記憶機能・知能・認知等	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤、スポット
15	まとめ	生涯発達と人生プラン	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤

日付

6.9.30 (月) 1
6.10. 7 (月) 1
6.10.21 (月) 1
6.10.28 (月) 1
6.11.11 (月) 1
6.11.18 (月) 1
6.12. 2 (月) 1
6.12. 9 (月) 1
6.12.16 (月) 1
6.12.23 (月) 1
7.1. 6 (月) 1
7.1.20 (月) 1
7.1.21 (火) 1
7.1.22 (水) 1
7.1.27 (月) 1

教科書	特になし
参考書	川端 啓之 他 著「発達臨床心理学」(ナカニシヤ出版) 福田恵美子 編著「人間発達学」(中外医学社)
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	佐藤寿晃 tsato@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	生体形態学	科目英語表記	Biomorphology		
職名、担当教員氏名	教授 仁藤 充洋				
科目責任者氏名	仁藤 充洋				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	人体の仕組みと成り立ちを正しく理解し、人体の正常な機能と病態について理解を深めるための基礎知識を提供する。人体各部分の名称と形、相互の位置関係を、機能と結び付けて説明する。				
到達目標	人体全体の基本デザインや主要臓器の構造と位置関係、大まかな機能を、図と共に説明できる。				
成績評価方法	筆記試験：中間60%、期末40% 100点満点のうち60点以上を合格とする。				
成績評価基準	A：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称とその詳細について正確に説明できる B：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称とその詳細についてある程度正確に説明できる C：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称を説明できる D：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称を助言により何とか説明できる E：人体の構造について説明が困難である				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	総論	解剖学に関する総論、人体の外形と方向などについて学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.1~30	仁藤 充洋
2	骨格系	骨や靭帯、関節の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.31~81	仁藤 充洋
3	筋系	筋の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.83~119	仁藤 充洋
4	脈管系（心臓と動脈系）	心臓や動脈系の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.121~147	仁藤 充洋
5	脈管系（静脈とリンパ系）	静脈系、リンパ系の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.147~169	仁藤 充洋
6	消化器系（消化管）	消化管（口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肛門）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.171~201	仁藤 充洋
7	消化器系（消化管と消化腺）	消化管と消化腺（唾液腺、肝臓、膵臓など）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.201~215	仁藤 充洋
8	呼吸器系	肺と気道（鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.217~233	仁藤 充洋

9	泌尿生殖器系	泌尿器（腎臓、尿路）と生殖器（男性、女性）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.235~263	仁藤 充洋
10	内分泌系、感覚器系	ホルモンを産生する器官系（下垂体、松果体、甲状腺など）と感覚器（視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器など）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.265~278, 353~375	仁藤 充洋
11	学習状況の確認（試験含む）と振り返り	第4~10回の講義内容について補足し、学習状況の確認（試験を含む）を行う。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.121~278, 353~375	仁藤 充洋
12	神経系（中枢神経系）	中枢神経系（脊髄、脳幹、小脳、大脳など）と脳動静脈、脳室などの構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.279~311	仁藤 充洋
13	神経系（中枢神経系）	中枢神経系と脳動静脈、脳室などの構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.279~311	仁藤 充洋
14	神経系（末梢神経系と伝導路）	末梢神経系（脳神経、脊髄神経、自律神経）と伝導路（求心性・遠心性・小脳系）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.311~351	仁藤 充洋
15	解剖見学実習	山形大学医学部解剖実習棟にて見学を行います。日程については後日連絡します。	実際の標本を観察することで、教科書や座学で学んだ人体全体の基本デザイン、主要臓器の構造と位置関係を、3次元構造として理解する。	実習前に第1~14回までの講義内容について十分に復習すること。	仁藤 充洋、村 成幸、菊池 昭夫、スポット（山形大）

日付

6. 4.18 (木) 1・2
6. 4.25 (木) 1・2
6. 5. 2 (木) 1・2
6. 5. 9 (木) 1・2
6. 5.16 (木) 1・2
6. 5.23 (木) 1・2
6. 5.30 (木) 1・2
6. 6. 6 (木) 1・2
6. 6.13 (木) 1・2
6. 6.20 (木) 1・2
6. 6.27 (木) 1・2
6. 7. 4 (木) 1・2
6. 7.11 (木) 1・2
6. 7.18 (木) 1・2

教科書	入門人体解剖学 改訂第6版、藤田恒夫 著、藤田信也 改訂、南江堂、2024年1月
参考書	解剖学講義、伊藤隆、南山堂
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	

実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	研究室26 Email: mnito@yachts.ac.jp
備考	解剖学は医療に携わる人の基礎知識です。単語の丸暗記ではなく、人体の構造を機能面や発生学的観点から理解しながら勉強していきましょう。 不明なことや疑問に思ったことは遠慮せずに質問してください。

授業科目	生体形態学		科目英語表記	Biomorphology	
職名、担当教員氏名	教授 村 成幸 教授 菊池 昭夫 教授 仁藤 充洋				
科目責任者氏名	村 成幸				
学内連絡教員氏名	村 成幸				
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	人体の仕組みと成り立ちを正しく理解し、人体の正常な機能と病態について理解を深めるための基礎知識を提供する。人体各部分の名称と形、相互の位置関係を、機能と結び付けて説明する。 筋骨格系、内臓系、中枢神経系の3分野に分けて教授する。				
到達目標	人体全体の基本デザインや主要臓器の構造と位置関係、大まかな機能を、図と共に説明できる。				
成績評価方法	筆記試験：中間60%、期末40% 100点満点のうち60点以上を合格とする。 60点未満の場合、各々3分野のうち6割に満たなかった分野について再試験を課す。				
成績評価基準	A：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称とその詳細について正確に説明できる B：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称とその詳細についてある程度正確に説明できる C：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称を説明できる D：神経系・脈管系・各臓器・筋骨格系の名称を助言により何とか説明できる E：人体の構造について説明が困難である				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	中枢神経系	大脳・小脳・脳幹の構造、機能について学習する	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖 第3版 神経解剖を読んでください	菊池 昭夫
2	中枢神経系	大脳の内部（基底核や視床など）・脳神経の構造、機能について学習する	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖 第3版 神経解剖を読んでください	菊池 昭夫
3	中枢神経系	髄膜・脳室・脳動静脈・脊髄の構造、機能について学習する	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖 第3版 神経解剖を読んでください	菊池 昭夫
4	脈管系（心臓と動脈系）	心臓や動脈系の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.121~147	仁藤 充洋
5	脈管系（静脈とリンパ系）	静脈系、リンパ系の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.147~169	仁藤 充洋
6	消化器系（消化管）	消化管（口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肛門）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.171~201	仁藤 充洋
7	消化器系（消化管と消化腺）	消化管と消化腺（唾液腺、肝臓、膵臓など）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.201~215	仁藤 充洋

8	呼吸器系	肺と気道（鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.217~233	仁藤 充洋
9	泌尿生殖器系	泌尿器（腎臓、尿路）と生殖器（男性、女性）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.235~263	仁藤 充洋
10	内分泌系、感覚器系	ホルモンを産生する器官系（下垂体、松果体、甲状腺など）と感覚器（視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器など）の構造について学習する。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.265~278, 353~375	仁藤 充洋
11	学習状況の確認（試験含む）と振り返り	第4~10回の講義内容について補足し、学習状況の確認（試験を含む）を行う。	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	入門人体解剖学, p.121~278, 353~375	仁藤 充洋
12	末梢神経・筋骨格系の解剖・生理総論 筋骨格系 体幹	末梢神経・筋骨格系の用語、発生、構造、生理的な機能について学習する 脊柱の構造、胸郭、呼吸筋、腹筋について学習する	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 第3版 総論・体幹を読んでおいてください	村 成幸
13	筋骨格系 上肢	肩甲帯・上肢の骨、関節、靭帯、筋、末梢神経について学習する	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 第3版 上肢を読んでおいてください	村 成幸
14	筋骨格系 下肢	骨盤・下肢の骨、関節、靭帯、筋、末梢神経について学習する	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 第3版 下肢を読んでおいてください	村 成幸
15	筋骨格系 補足 試験	末梢神経・筋骨格系の解剖の補足と学習状況の確認（試験を含む）を行います	教科書に沿って板書、プリント、スライド、模型の観察などを行いながら、人体の構造を学習する。	第12・13・14回の講義の内容を教科書、プリントで復習してください。	村 成幸

日付

6. 4.18 (木) 1・2
6. 4.25 (木) 1・2
6. 5. 2 (木) 1・2
6. 5. 9 (木) 1・2
6. 5.16 (木) 1・2
6. 5.23 (木) 1・2
6. 5.30 (木) 1・2
6. 6. 6 (木) 1・2
6. 6.13 (木) 1・2
6. 6.20 (木) 1・2
6. 6.27 (木) 1・2
6. 7. 4 (木) 1・2
6. 7.11 (木) 1・2
6. 7.18 (木) 1・2
6. 7.25 (木) 1・2

教科書	村 担当分：プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系 第3版、坂井 建雄 / 松村 譲児 監訳、医学書院、2017年1月 菊池担当分：プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖 第3版、坂井 建雄 / 河田 光博 監訳、医学書院、2019年3月 仁藤担当分：入門人体解剖学 改訂第6版、藤田恒夫 著、藤田信也 改訂、南江堂、2024年1月
参考書	解剖学講義、伊藤隆、南山堂 カパンジー機能解剖学 A. I. Kanpandji著、増田悦仁訳 I：上肢 II：下肢
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2／理学5／作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目において	非該当

あらかじめ修得しておかなければならない科目	
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	村 : 研究室35 nmura@yachts.ac.jp 菊池 : 研究室38 akikuchi@yachts.ac.jp 仁藤 : 研究室26 mnito@yachts.ac.jp
備考	解剖学は医療に携わる人の基礎知識です。単語の丸暗記ではなく、人体の構造を機能面や発生学的観点から理解しながら勉強していきましょう。 不明なことや疑問に思ったことは遠慮せずに質問してください。

授業科目	生体機能学Ⅰ	科目英語表記	Physiology I		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一				
科目責任者氏名	蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	<p>生体の生理機能（身体の仕組み）について講義する。 前半は人体の最小単位である細胞の特徴および細胞を調節するための機構と、生体機能学（生理学）と関係する物理学や化学の基本事項について講義するほか、動物の基本的な特性である「運動」がどのようにして行われるか（動物性機能）について講義する。後半は生命機能の維持に必須な最低限の機能（植物性機能）について講義する。 動物性機能では、神経、筋、感覚などの機能がどのように関わりあって身体の動きが正常に行えるかについて講義する。 植物性機能では、体液のpH、体温などの生体内環境が生理機能を統合して一定に保たれているという恒常性（ホメオスタシス）について講義する。</p> <p>この講義では、生命維持のために必要な基本的生理機能を理解し、体温、pH、浸透圧などの恒常性（ホメオスタシス）がどのように維持され、その破綻からどのような疾患がもたらされるか理解できるようになることを目指す。</p>				
到達目標	<p>【動物性機能】以下の項目について説明できる。 ○神経細胞の活動電位発生の機序 ○神経組織の構成要素 ○神経線維の分類 ○アセチルコリンおよびアドレナリン受容体の各サブタイプ ○交感神経と副交感神経の機能 ○脳の構成 ○脳死判定 ○ノンレム睡眠とレム睡眠の特徴 ○反射の要素 ○膝蓋腱反射および屈曲反射 ○正常な随意運動が起こるために必要な4つの部位とその障がい ○大脳基底核の役割と障がい ○骨格筋の微細構造 ○骨格筋の筋線維タイプ ○骨格筋の興奮収縮連関 ○骨格筋のエネルギー代謝 ○脳波および筋電図の原理 ○感覚の種類 ○視覚、聴覚、平衡覚の特徴 ○関連痛</p> <p>【植物性機能】以下の項目について説明できる。 ○血液の生理作用 ○血液凝固と線溶の概要 ○心臓および血管の構造と機能 ○不整脈 ○心拍出量および血圧の調節 ○心不全の原因および分類 ○肺サーファクタントの機能 ○肺胞におけるガス交換と血流の関係 ○糖質およびタンパク質の消化吸収の特徴 ○腎臓の血流の特徴 ○生体で作られる酸とアシドーシス ○尿細管における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序 ○体液量および血圧の液性調節 ○熱平衡 ○内分泌の階層的支配 ○下垂体後葉ホルモンの生理作用 ○副腎皮質および髄質ホルモンの生理作用 ○甲状腺ホルモンの分泌異常 ○性周期における女性ホルモンの変化 ○血糖を調節するホルモン ○血漿カルシウム濃度を調節するホルモン ○内分泌疾患</p>				
成績評価方法	<p>動物性機能の範囲終了後と植物性機能の範囲終了後に、講義内容全般に関する筆記試験を実施する。 動物性機能および植物性機能それぞれについて、満点の6割以上の得点で合格とする。6割未満の場合は、それぞれの範囲について再試験を1回に限り実施する。それぞれの試験の合計点で成績を評価する。</p>				
成績評価基準	<p>特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	動物性機能①	細胞の構造、膜電位	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
2	動物性機能②	興奮の発生と伝導	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
3	動物性機能③	神経組織の構造 神経系の分類と特徴	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
4	動物性機能④	興奮の伝達	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
5	動物性機能⑤	末梢神経系（自律神経系）と内臓機能	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田

6	動物性機能⑥	末梢神経系（体性神経系）と運動機能	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
7	動物性機能⑦	中枢神経系（脳の構造と機能）	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
8	動物性機能⑧	中枢神経系（脊髄の構造と機能）	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
9	動物性機能⑨	脊髄反射、脳幹反射	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
10	動物性機能⑩	骨格筋の構造と機能	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
11	動物性機能⑪	筋収縮のメカニズム 興奮収縮連関	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
12	動物性機能⑫	運動の調節系 大脳基底核の機能	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
13	動物性機能⑬	筋電図 脳波	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
14	動物性機能⑭	感覚系の構成と機能	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
15	動物性機能⑮	動物性機能のまとめ	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
16	植物性機能①	血液・間質液・リンパ	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
17	植物性機能②	体液の循環と移動・生体防御	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
18	植物性機能③	心臓・血管の構造と機能	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
19	植物性機能④	心拍出量および血圧の調節	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
20	植物性機能⑤	心電図・心臓の神経支配	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
21	植物性機能⑥	呼吸の調節	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
22	植物性機能⑦	肺の呼吸機能・血液の酸塩基平衡	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
23	植物性機能⑧	消化器の作用と神経支配	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
24	植物性機能⑨	栄養分の吸収	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
25	植物性機能⑩	体温の調節機構	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田

26	植物性機能⑪	腎臓の機能・体液量の調節	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
27	植物性機能⑫	尿の生成と排泄	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
28	植物性機能⑬	内分泌（視床下部・下垂体・甲状腺）	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
29	植物性機能⑭	内分泌（膵臓・副腎・性腺）	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田
30	植物性機能⑮	植物性機能のまとめ	講義	配付した資料およびまとめ問題、教科書で復習し知識の定着を確認する。	蓬田

日付

6.4.9 (火) 1・2
6.4.16 (火) 1・2
6.4.23 (火) 1・2
6.4.30 (火) 1・2
6.5.7 (火) 1・2
6.5.14 (火) 1・2
6.5.21 (火) 1・2
6.5.28 (火) 1・2
6.6.4 (火) 1・2
6.6.11 (火) 1・2
6.6.18 (火) 1・2
6.6.25 (火) 1・2
6.7.2 (火) 1・2
6.7.9 (火) 1・2
6.7.16 (火) 1・2

教科書	佐久間康夫監修：カラー図解 よくわかる生理学の基礎(第2版), メディカルサイエンスインターナショナル, 2017
参考書	小澤瀬司ほか監修：標準生理学(第9版), 医学書院, 2019 (図書館蔵書)
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	生体機能学Ⅱ	科目英語表記	Physiology Ⅱ												
職名、担当教員氏名	助教 工藤 大輔														
科目責任者氏名	工藤 大輔														
学内連絡教員氏名															
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年												
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修												
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位										
授業概要	神経系の構造と機能、運動、感覚、記憶、感情、認知機能などの成り立ちを教授する。														
到達目標	到達目標Ⅰ：神経系の構造と機能を説明できる 到達目標Ⅱ：運動、感覚、記憶、感情、認知機能などの成り立ちを説明できる 到達目標Ⅲ：中枢神経疾患に起因する運動障害に対するリハビリテーションについて説明できる														
成績評価方法	・各講義後において出題する確認問題（40%） ・筆記試験（60%） 上記2項目を合わせて100点満点として評価する														
成績評価基準	到達目標Ⅰ～Ⅲ： <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">特に優れている</td> <td>適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>優れている</td> <td>根拠を踏まえて論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>良好である</td> <td>根拠を用いてある程度論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>最低限の到達</td> <td>根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>目標に到達していない</td> <td>説明できない</td> </tr> </table>					特に優れている	適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる	優れている	根拠を踏まえて論理的に説明できる	良好である	根拠を用いてある程度論理的に説明できる	最低限の到達	根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる	目標に到達していない	説明できない
特に優れている	適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる														
優れている	根拠を踏まえて論理的に説明できる														
良好である	根拠を用いてある程度論理的に説明できる														
最低限の到達	根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる														
目標に到達していない	説明できない														

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	神経系の構造と機能	・神経系の構成と機能区分 ・神経細胞、神経膠細胞 ・シナプス伝達	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔
2	神経系の情報伝導・伝達の仕組み	・神経系の情報伝導と伝達の仕組み ・シナプス可塑性	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔
3	中枢神経系の構造と機能	・大脳の役割と機能 ・脊髄の役割と機能	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔
4	運動と感覚に関わる伝導路の構造と機能	・運動と感覚に関わる伝導路 ・皮質脊髄路 ・体性感覚の伝導路	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔
5	末梢神経系の構造と機能	・脳神経の役割と機能 ・脊髄神経の役割と機能	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容	工藤 大輔

				を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	
6	小脳と脳幹の構造と機能	・運動制御と学習における小脳の役割 ・運動制御と学習における脳幹の役割	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔
7	大脳基底核の構造と機能	・運動制御と学習における大脳基底核の役割	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔
8	間脳（視床）と大脳辺縁系の構造と機能	・間脳の役割と機能 ・感覚経路としての視床の役割 ・記憶、感情、認知機能における大脳辺縁系の役割	講義	予習課題 教科書「病気がみえる vol.7 脳・神経」より該当する内容を事前に予習して臨んでください。 復習課題 確認問題の実施	工藤 大輔

日付

6. 9. 26 (木)5
6. 10. 3 (木)5
6. 10.10 (木)5
6. 10.17 (木)5
6. 10.24 (木)5
6. 10.31 (木)5
6. 11. 7 (木)5
6. 11.14 (木)5

教科書	病気がみえる vol.7 脳・神経、MEDIC MEDIA
参考書	カンデル神経科学、Eric R. Kandel, 他（原著）、メディカルサイエンスインターナショナル 神経科学－脳の探求－、M.F. ベアー、他（原著）、西村書店 リハビリテーションのためのニューロサイエンス、西条 寿夫、他（監修）、MEDICAL VIEW 神経科学の最前線とリハビリテーション、里宇明元、他（監修）、医歯薬出版株式会社
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2/理学5/作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	工藤 大輔（理学療法士）
実務経験をいかした教育内容	中枢神経疾患に対して理学療法士として臨床と研究活動を行ってきた教員が、生体機能（神経系）とリハビリテーション分野における最新の臨床知見を教授する。
教員の連絡先	工藤 大輔：理作共同研究室 dkudo@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	栄養代謝学	科目英語表記	Biochemistry		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一				
科目責任者氏名	蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	<p>人体は約37兆個の細胞で成り立っていると言われていて、人体が生存するにはこれらの細胞一つ一つが正常に機能することが必要であるが、そこで営まれている活動は全て化学反応である。この科目では細胞内で行われている化学反応について理解を深め、食物として生体内に取り込んだ物質（栄養）がどのように吸収され、生体内でどのように変化していくのか、あるいは吸収された物質をもとにどのような物質が新たに作られていくのか、その異常がどのように疾患に結びついていくのかを概説する。</p> <p>この講義では、生物の最小基本単位である「細胞」がどのように成り立っているのか、食物から体内に取り込んだ栄養素（炭水化物・脂質・蛋白質）が生体内・細胞内でどのように変化し、利用されているのか、さらに、遺伝の仕組みについて理解し、遺伝子の変異（異常）が生体の物質代謝に及ぼす影響について理解することを目指す。</p>				
到達目標	<p>以下の項目について説明ができる：</p> <p>○糖質・脂質・アミノ酸の基本構造および分類 ○必須脂肪酸の種類（ω3系、ω6系） ○アミノ酸から作られる生体内物質 ○核酸の塩基の分解と関連する疾患 ○ビタミンの種類と主な生理作用 ○生体の必須ミネラル ○代謝性疾患の原因 ○アルコールの代謝 ○遺伝の仕組み ○遺伝子の異常が疾患に結びつく仕組み ○栄養素の摂取が疾患に及ぼす影響</p>				
成績評価方法	講義内容全般に関する筆記試験により評価する。満点の6割以上の得点を合格とし、6割未満の場合は再試験を一回に限り実施する。				
成績評価基準	<p>特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	イントロダクション 細胞の構造	化学の基礎 細胞の構造	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
2	細胞を構成する分子 ①	糖質	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
3	細胞を構成する分子 ②	脂質	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
4	細胞を構成する分子 ③	タンパク質	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
5	細胞を構成する分子 ④	核酸	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
6	遺伝の仕組み	遺伝子とは 遺伝子の複製 遺伝子からタンパク質の合成	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
7	物質の代謝①	酵素反応	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。	蓬田

				「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	
8	物質の代謝②	補酵素 酵素反応速度論	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
9	物質の代謝③	アルコールの代謝①	講義と演習	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
10	物質の代謝④	アルコールの代謝②	講義と演習	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
11	栄養素の代謝と生体内物質の生合成①	糖質	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
12	栄養素の代謝と生体内物質の生合成②	脂質	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
13	栄養素の代謝と生体内物質の生合成③	アミノ酸 核酸	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
14	生化学的知識の臨床への応用	疾患と生化学的情報	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田
15	講義のまとめ	講義のまとめ	講義	配付した資料およびまとめ問題で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」など他の科目との関連を確認する。	蓬田

日付

6. 9.30 (月)4
6.10. 7 (月)4
6.10.21 (月)4
6.10.28 (月)4
6.11.11 (月)4
6.11.18 (月)4
6.12. 2 (月)4
6.12. 9 (月)4
6.12.16 (月)4・5
6.12.23 (月)4
7. 1. 6 (月)4
7. 1. 20 (月)4
7. 1. 21 (火)4
7. 1. 27 (月)4

教科書	指定しない（講義資料を配布する）
参考書	藺田 勝 編「栄養科学イラストレイテッド 生化学(第3版)」(羊土社) 林典夫、廣野治子 監修「シンプル生化学」(南江堂) 三輪一智、中 恵一 著「系統看護学講座 生化学・人体の構造と機能②」(医学書院)
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修	非該当

得しておかなければならない科目	
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	臨床栄養学	科目英語表記	Clinical Nutrition		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 楠本 健二 教授 遠藤 和子				
科目責任者氏名	楠本 健二				
学内連絡教員氏名	遠藤 和子：研究室13 kaendo@yachts.ac.jp				
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	栄養学に関する基礎的な事項、疾病と栄養との関連、臨床現場で実際に提供される治療食等について板書およびスライド（パワーポイント）を用いて講義を行う。 将来、看護師として食支援に携わることにもなるが、その前段階として自らの食事についても考えてもらうための内容となる。				
到達目標	【認知的領域】 栄養素について（種類、機能、消化、吸収、代謝等）説明することができる（知識・理解）。 病院等における食事の役割、重要性について述べるができる（知識・理解）。 【情意的領域】 自らの食生活を振り返ることが出来る（関心・意欲）。 対象者のみならず自らの食事を見直すことが出来る（関心・意欲）。				
成績評価方法	定期試験90%（期末）：講義内容について知識の定着度、応用力を基準として筆記試験によって評価する。到達目標の 【認知的領域】 を評価 授業態度10%：授業に取り組む姿勢を観察法にて評価する。到達目標の 【情意的領域】 を評価 上記2項目を合わせて100点満点として評価する。				
成績評価基準	【認知的領域】 栄養素について（種類、機能、消化、吸収、代謝等）説明することができる 病院等における食事の役割、重要性について述べるができる 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない；説明できない 【情意的領域】 自らの食生活を振り返ることが出来る 対象者のみならず自らの食事を見直すことが出来る 特に優れている；自分の生活を見直し改善できている 優れている；自分の生活を見直し改善しようとしている 良好である；自分の生活を見直している 最低限の到達；自分の生活の見直しを考えている。 目標に達していない；自分の生活を見直そうとは思っていない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	オリエンテーション 看護と栄養学の接点	栄養学の歴史、看護学と栄養学の接点：食生態学と食看護学の概要	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	「看護覚え書き」を読んでおく と理解が深まります	遠藤
2	栄養学の歴史 食事摂取基準（2020年版）について①	栄養学とは？ 総論と活用	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書の第一章、食事摂取基準、総論と活用の範囲を読んでおく。	楠本
3	食事摂取基準（2020年版）について②	活用、各論(エネルギー)	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書の食事摂取基準、活用、各論(エネルギー)の範囲を読んでおく。	楠本
4	食事摂取基準（2020年版）について③	各論(たんぱく質・脂質)	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書の食事摂取基準、各論(たんぱく質・脂質)の範囲を読んでおく。	楠本
5	栄養状態の評価 栄養と疾病治療①	アセスメント 腎疾患、糖尿病	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書のアセスメント、腎疾患、糖尿病の範囲を読んでおく。	楠本
6	栄養と疾病治療②	肝・胆・膵疾患	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書の肝・胆・膵疾患の範囲を読んでおく。	楠本

7	栄養と疾病治療③	脂質異常症	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書の脂質異常症の範囲を読んでおく。	楠本
8	栄養と疾病治療④	心疾患・褥瘡	教員の話す内容をよく聞き、資料に必要事項を記載する。	教科書の心疾患・褥瘡の範囲を読んでおく。	楠本
日付					
6. 9.26 (木) 3 6.10. 3 (木) 3 6.10.10 (木) 3 6.10.17 (木) 3 6.10.24 (木) 3 6.10.31 (木) 3 6.11. 7 (木) 2 6.11. 7 (木) 3					

教科書	コンパクト栄養学第4版、南江堂、定価2,200円+税
参考書	「看護覚え書き」F.ナイチンゲール、現代社 その他、栄養学、医学に関する書籍全般
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	楠本健二：kusumoto@e.yamagata-u.ac.jp
備考	

授業科目	免疫と微生物	科目英語表記	Immunology and Infectious Diseases		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 浅尾 裕信 非常勤講師 浜本 洋				
科目責任者氏名	浅尾 裕信				
学内連絡教員氏名	遠藤恵子：研究室20 kendo@yachts.ac.jp				
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	看護－必修 理・作－選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	風邪や食中毒を引き起こす身近なものから、院内感染を引き起こすもの、HIVや結核、新型コロナウイルスなどの社会問題となるものまで、実に様々な病原微生物が存在します。免疫と微生物では、医療者が必要とする感染症についての基本的な知識を学修するとともに、そのような感染症や癌などを排除する免疫の仕組みについて学修します。また、免疫が関与するアレルギーや自己免疫疾患の病態についても概説します。				
到達目標	<p>「微生物」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染と感染症の違いについて説明できる。 2. 感染症発生の3要素（感染源・感染経路・宿主）について説明できる。 3. 細菌とウイルスの違いについて説明できる。 4. 代表的な細菌感染症とその対策について説明できる。 5. 代表的なウイルス感染症とその対策について説明できる。 6. 代表的な真菌・寄生虫感染症とその対策について説明できる。 <p>「免疫」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫系の一般特性（自然免疫、獲得免疫）について説明できる。 2. 病原微生物に対する免疫応答やその破綻による疾患を説明できる。 3. 免疫系の過剰応答により発症するアレルギーや自己免疫疾患を説明できる。 4. 免疫系の機能不全により発症する先天性および後天性免疫不全症を説明できる。 5. 免疫系によるがんの監視機構について説明できる。 				
成績評価方法	<p>微生物と免疫の試験は定期試験として合わせて行い評価します。 定期試験では到達目標に上げた項目の中の基本的事項について、選択問題と記述問題の形式で出題する予定です。 微生物と免疫はそれぞれ50点満点とし、それぞれ6割以上（30点以上）を獲得した学生を合格とします。</p> <p>微生物では8回の講義の中で実施するミニテスト（1回1、25点満点、合計10点、小数点以下は切り捨て）を行い、定期試験（40点）に加点し、合計50点とします。 免疫では7回の授業の中で授業内容に関連したミニテスト（1回1点、合計7点）を行い、その点数を定期試験（43点）に加点し合計50点とします。 微生物および免疫のそれぞれにおいて、合格点に達しなかった学生に対しては1回だけ再試験をすることがあります。</p>				
成績評価基準	<p>微生物と免疫の成績評価基準として、それぞれのすべての到達目標に対して以下のとおりとします。</p> <p>特に優れている (A)；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている (B)； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である (C)； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達 (D)； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない (F)；説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	「微生物」 1. 感染症学概論	人類と感染症の歴史をひもときながら、感染症の種類と、微生物を学ぶ意義について学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。	浜本洋

2	2. 微生物の構造と増殖機序	微生物の分類と、それらの構造および増殖の仕方について学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。	浜本洋
3	3. 細菌感染症	代表的な細菌感染症について、その性質と症状を学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。	浜本洋
4	4. 抗菌治療薬	細菌感染症に用いられる代表的な抗菌薬と、その作用機序を学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。	浜本洋
5	5 ウイルス感染症	代表的なウイルス感染症について、その性質と症状を学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。	浜本洋
6	6 真菌・寄生虫感染症	代表的な真菌・寄生菌感染症について、その性質と症状を学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。	浜本洋
7	7. 感染症の検査と診断	感染症の検査法、病原体の分離同定法について学習します。	パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらう予定です。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してく	浜本洋

				<p>ださい。</p> <p>また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。</p>	
8	8. 感染対策	<p>感染症の消毒・滅菌法、及び、感染制御について学習します。</p>	<p>パワーポイントのスライドを用いて講義を行います。資料（白黒）は事前に配布します。</p>	<p>講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。</p> <p>また、感染症に関するニュースが日々報道されています。医療人として様々な感染症の流行状況を把握することが必要とされますので、常日頃から関心を持っておくようにしてください。</p>	浜本洋
9	「免疫」1. 免疫学総論	<p>生体防御機構において、免疫とはどのようなものなのかを、感染症と免疫の歴史を振り返りながら学習します。また、免疫担当細胞や組織について学習します。</p>	<p>パワーポイントを使ったスライドにより講義します。講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。</p>	<p>講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。</p> <p>また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、その出典に注意して、正しい知識を学んでください。</p>	浅尾裕信
10	「免疫」2. 自然免疫	<p>免疫応答の中で、身体に初めから備わっている自然免疫とはどのようなものか、またその働きについて学習します。</p>	<p>パワーポイントを使ったスライドにより講義します。講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。</p>	<p>講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。</p> <p>また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、その出典に注意して、正しい知識を学んでください。</p>	浅尾裕信
11	「免疫」3. 獲得免疫（液性免疫）	<p>獲得免疫応答とは何か、その中でも抗体による免疫反応を中心とした液性免疫応答の仕組みと働きについて学習します。</p>	<p>パワーポイントを使ったスライドにより講義します。講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。</p>	<p>講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。</p> <p>また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、その出典に注意して、正しい知識を学んでください。</p>	浅尾裕信
12	「免疫」4. 獲得免疫（細胞性免疫）	<p>獲得免疫応答の中で、T細胞の他、マクロファージやNK細胞といった細胞を含んだ細胞性免疫応答の仕組みと働きについて学習します。</p>	<p>パワーポイントを使ったスライドにより講義します。講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。</p>	<p>講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。</p> <p>また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、その出典に注意して、正しい知識を学んでください。</p>	浅尾裕信
13	「免疫」5. 医療での免疫の利用	<p>免疫反応によるワクチンや検査、治療など医療への応用について学習します。</p>	<p>パワーポイントを使ったスライドにより講義します。講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。</p>	<p>講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。</p> <p>また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、そ</p>	浅尾裕信

				の出典に注意して、正しい知識を学んでください。	
14	「免疫」6. 移植・輸血	移植や輸血といった医療行為にともなう免疫反応がなぜ起こるのか、そしてそれらの予防方法について学習します。	パワーポイントを使ったスライドにより講義します。 講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、その出典に注意して、正しい知識を学んでください。	浅尾裕信
15	「免疫」7. 免疫疾患	免疫に関わる病気として、アレルギーや自己免疫疾患、免疫不全症などを学習します。	パワーポイントを使ったスライドにより講義します。 講義資料（白黒印刷）は事前に配布する予定です。	講義資料（カラー）は事前に県立大学のホームページにアップしてもらいます。ダウンロードして、予習・復習等の授業外学習に利用してください。 また、インターネットの情報を参考に学習する場合は、その出典に注意して、正しい知識を学んでください。	浅尾裕信

日付

6. 4. 8 (月) 3
6. 4.15 (月) 3
6. 4.22 (月) 3
6. 5.13 (月) 3
6. 5.20 (月) 3
6. 5.27 (月) 3
6. 6. 3 (月) 3
6. 6.10 (月) 3
6. 6.17 (月) 3
6. 6.24 (月) 3
6. 7. 1 (月) 3
6. 7. 8 (月) 3
6. 7.22 (月) 3
6. 7.23 (火) 3
6. 7.29 (月) 3

教科書	わかる！身につく！病原体・感染・免疫（南山堂）
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	浅尾：asao-h@med.id.yamagata-u.ac.jp 山形大学医学部免疫学講座（023-628-5263） （免疫学講座ホームページアドレス https://www.id.yamagata-u.ac.jp/Imm/ ） 浜本：hamamoto@med.id.yamagata-u.ac.jp 山形大学医学部感染症学講座（023-628-5247） （感染症学講座ホームページアドレス https://infectiousdiseases-yamagata-u.jp ）
備考	

授業科目	生体形態学実習	科目英語表記	Practice of Anatomy		
職名、担当教員氏名	教授 仁藤 充洋 教授 村 成幸 教授 菊池 昭夫 講師 鈴木栄三郎 講師 川勝 祐貴 助教 工藤 大輔 助教 高畑 未樹 非常勤講師 川岸久太郎 非常勤講師 庄司 沙織 非常勤講師 橋爪 和足				
科目責任者氏名	仁藤 充洋				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	実習若しくは実技	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	リハビリテーションを学ぶ基礎として、人体各内部臓器の構造と相互関係を理解するために実習を行う。				
到達目標	1. 神経系・脈管系・各臓器を指示しながら相互の位置関係や機能を説明できる。 2. 筋の起始、停止、作用、支配神経を説明できる。				
成績評価方法	学習態度 20% 口頭試問 80%				
成績評価基準	A：正確に神経系・脈管系・各臓器・各筋を指示することができ、正確に名称を説明できる B：ある程度正確に神経系・脈管系・各臓器・各筋を指示することができ、正確に名称を説明できる C：ある程度正確に神経系・脈管系・各臓器・各筋を指示することができ、ある程度正確に名称を説明できる D：助言により何とか神経系・脈管系・各臓器・各筋を指示することができ、名称を説明できる E：神経系・脈管系・各臓器・各筋を指示すること、言語での説明とも困難である				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	人体各部分の標本の観察 体表前面の観察	人体各部分の標本を観察し、人体構造の実際を学習する。 体表前面の観察：皮膚、皮下組織、皮神経・皮動静脈などについて観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
2	体表前面の観察	体表前面の観察：皮膚、皮下組織、皮神経・皮動静脈などについて観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
3	体表前面の観察	体表前面の観察：皮膚、皮下組織、皮神経・皮動静脈などについて観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
4	体表後面の観察	体表後面の観察：皮膚、皮下組織、皮神経・皮動静脈などについて観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
5	体表後面の観察	体表前面の観察：皮膚、皮下組織、皮神経・皮動静脈などについて観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
6	体幹前面筋の観察	体表前面の観察：皮膚、皮下組織、皮神経・皮動静脈などについて観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
7	頸部・腕神経叢・下肢伸筋の観察	浅層の筋、動静脈、末梢神経系について観察する	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
8	頸部・腕神経叢・下肢伸筋の観察	浅層の筋、動静脈、末梢神経系について観察する	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理	仁藤 他

			取り組む。	解してから実習に臨むこと。	
9	外来背筋・肩・殿筋・ハムストリングの観察	浅層の筋、動静脈、末梢神経系について観察する	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
10	胸腔臓器の観察	体幹腹側の筋、胸膜、心臓、肺の構造などを観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
11	胸腔臓器の観察	体幹腹側の筋、胸膜、心臓、肺の構造などを観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
12	腹腔臓器の観察	体幹腹側の筋、腹膜、腹腔内蔵、動静脈などの構造を観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
13	腹腔臓器の観察	体幹腹側の筋、腹膜、腹腔内蔵、動静脈などの構造を観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
14	骨盤腔臓器の観察	骨盤腔の臓器、泌尿生殖器、動静脈などの構造を観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
15	固有背筋の観察、脳脊髄取り出し	体幹背側の筋骨格系および脳脊髄の構造を観察する	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
16	固有背筋の観察、脳脊髄取り出し	体幹背側の筋骨格系および脳脊髄の構造を観察する	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
17	上肢・下肢	上肢・下肢の浅層および深層の筋、神経、動静脈などについて観察する。 人体組織学的実習、神経生理学的実習も含む。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
18	上肢・下肢	上肢・下肢の深層の筋、神経、動静脈、関節などについて観察する。 人体組織学的実習、神経生理学的実習も含む。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
19	上肢・下肢	上肢・下肢の深層の筋、神経、動静脈、関節などについて観察する。 人体組織学的実習、神経生理学的実習も含む。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
20	関節の観察・納棺	骨の連結について観察する。	実習開始前に手引書を配布し、その内容に従って実習に取り組む。	手引書をよく読み、不明な用語は参考書で調べて、よく理解してから実習に臨むこと。	仁藤 他
21					
22					
23					

日付

6.10.11 (金)3~5
6.10.18 (金)3~5
6.10.25 (金)3~5
6.11.1 (金)3~5
6.11.8 (金)3~5
6.11.15 (金)3~5
6.11.22 (金)3~5
6.11.26 (火)3~5
6.11.29 (金)3~5
6.12.3 (火)3~5
6.12.6 (金)3~5
6.12.13 (金)3~5
6.12.17 (火)3~5
6.12.20 (金)3~5
6.12.24 (火)3~5

6.12.27 (金)3～5
 7.1.10 (金)3～5
 7.1.14 (火)3～5
 7.1.17 (金)3～5
 7.1.24 (金)3～5

教科書	プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系 第3版、坂井 建雄 / 松村 譲児 監訳、医学書院、2017年1月 プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖 第3版、坂井 建雄 / 河田 光博 監訳、医学書院、2019年3月
参考書	分担解剖学 解剖学1 第11版、森 於菟 ら、金原出版、1982年2月 分担解剖学 解剖学2 第11版、平沢 興ら、金原出版、1982年2月 分担解剖学 解剖学3 第11版、小川 鼎三ら、金原出版、1982年2月
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2／理学5／作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	仁藤：研究室26 mnito@yachts.ac.jp 村：研究室35 nmura@yachts.ac.jp 菊池：研究室38 akikuchi@yachts.ac.jp
備考	履修上の注意：献体者のご厚意とご遺族の心情に報いるように真摯な態度で臨むこと。 必ず、予習すること。生体形態学、骨学、神経解剖学で配布したプリントも持参すること。 実習を指導して下さる山大医学部教官に敬意をもって接すること。 構造・用語などを覚えるのはもちろんですが、体性感覚、視覚を駆使して、実習でしか得られない体験を心に刻んでください。一生の財産になります。

授業科目	生体機能学演習	科目英語表記	Practice of Physiology		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一 教授 佐藤 寿晃 教授 仁藤 充洋 講師 鈴木栄三郎 講師 川勝 祐貴 助教 工藤 大輔 助教 高畑 未樹				
科目責任者氏名	教授 蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	演習	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	呼吸、循環、腎機能、呼吸機能、体温調節、活動電位、感覚、筋電図、脳波などについて基本的な測定を行うことによって各生理機能について理解を深められるように指導する。 オリエンテーションで演習内容、データ解析および考察について詳しく説明する。(状況により、演習の内容が変更する場合があります) この演習では、以下の理解を深めることを目指す。 ①生理機能を測定する種々の機器を実際を使って、どのような機器で測定するか理解できる。 ②測定結果の処理を通してデータの意味、精度および統計処理等について理解を深める。 ③自らが被験者となることで、検査される側(患者)の気持ちが理解できる。				
到達目標	以下の項目について説明できる： ○心電図の標準12誘導 ○自律神経反射による心拍数の変化 ○最大努力呼出曲線の測定法とその解析 ○酸素摂取量の求め方 ○酸素摂取量と基礎代謝量の関係 ○運動試験と筋力との関係 ○尿検査の結果と健康との関連 ○自由水クリアランスと不感蒸泄量との関係 ○運動時の熱平衡 ○神経細胞の脱分極、過分極および再分極のイオン機序 ○2点識別閾が皮膚の部位により異なる理由 ○筋電図のM波の測定 ○脳波の基本的測定法 ○安静閉眼からの開眼および過呼吸による脳波の変化 ○血圧の測定に習熟する。				
成績評価方法	演習内容に関する筆記試験を行い、満点の6割以上の得点で合格とする。6割未満の場合は再試験を1回行う。				
成績評価基準	特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	演習オリエンテーション	各演習項目の測定原理、注意点	講義	演習テキストをもとに、実際に行う演習の内容について学修する。	蓬田
2	心電図・血圧	心電図の基本的な測定方法とその解析 血圧の測定法とその意義	演習	得られた測定結果を解析し、テキストに記載された考察を行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井上・川勝・高畑
3	心電図・血圧	心電図の基本的な測定方法とその解析 血圧の測定法とその意義	演習	得られた測定結果を解析し、テキストに記載された考察を行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井上・川勝・高畑
4	運動試験	6分間歩行試験による運動耐容能の測定 踏み台昇降運動による運動耐容能の測定	演習	得られた測定結果を解析し、テキストに記載された考察を行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井上・川勝・高畑
5	運動試験	6分間歩行試験による運動耐容能の測定 踏み台昇降運動による運動耐容能の測定	演習	得られた測定結果を解析し、テキストに記載された考察を行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井上・川勝・高畑
6	腎機能・活動電位・感覚	尿試験紙を用いた腎機能の測定 シミュレーションソフトを用	演習	得られた測定結果を解析し、テキストに記載された考察を行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井上・川勝・高畑

		いた活動電位の測定 二点識別閾の測定			
7	腎機能・活動電位・ 感覚	尿試験紙を用いた腎機能の測定 シミュレーションソフトを用いた活動電位の測定 二点識別閾の測定	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井 上・川勝・高畑
8	体温の調節	運動負荷による熱産生と体温 恒常性の維持	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井 上・川勝・高畑
9	体温の調節	運動負荷による熱産生と体温 恒常性の維持	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井 上・川勝・高畑
10	筋電図	誘発筋電図による運動神経伝 導速度の測定	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井 上・川勝・高畑
11	筋電図	誘発筋電図による運動神経伝 導速度の測定	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	蓬田・仁藤・鈴木・工藤・井 上・川勝・高畑
12	脳波	脳波の測定とその意義	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	佐藤
13	脳波	脳波の測定とその意義	演習	得られた測定結果を解析し、 テキストに記載された考察を 行う。	佐藤
14	測定結果と考察	各演習項目の測定結果と考察 のプレゼンテーション	演習		蓬田
15	測定結果と考察	各演習項目の測定結果と考察 のプレゼンテーション	演習		蓬田

日付

6.11.14 (木) 4
6.11.28 (木) 3・4
6.12. 5 (木) 3・4
6.12.12 (木) 3・4
6.12.19 (木) 3・4
6.12.26 (木) 3・4
7.1. 9 (木) 3・4
7.1.16 (木) 3・4

教科書	指定しない(演習テキストを配布する)
参考書	日本生理学会編「新・生理学実習書」(南江堂) 杉 晴夫 著「コメディカルのための生理学実習ノート」(南江堂) 佐藤昭夫 監修「生理学実習NAVI」(医歯薬出版)
ディプロマ・ ポリシーとの 関連	理学2/理学5/作業2
先修条件指定 科目	非該当
先修条件指定 科目において あらかじめ修 得しておかな ければならな い科目	非該当
実務経験のある 教員	
実務経験をい かした教育内 容	

教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp
備考	5グループに分け、ローテーションで実施する（第2回～第11回）

授業科目	薬理学	科目英語表記	Pharmacology		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一				
科目責任者氏名	蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	<p>現代の医療は、大きく分けると3つの柱（生活指導[疾病予防]・薬物療法・外科手術）によって行われているが、そのなかで薬物療法は中心的な役割を担っている。理学・作業療法に携わる専門職が薬物療法に直接関わる場面は限られるが、対象とする患者のほとんどは何らかの薬物治療を受けており、服用する薬物の種類によっては理学・作業療法に影響を及ぼす可能性も考えられる。したがって、薬物療法に直接関わることは無くても、疾患の治療や回復に携わる人間として薬物についての一定の知識を持っていることが求められる。本科目では、医薬品がどのように疾患の治療に寄与しているのか、基本的な事項について概説するとともに、頻用される治療薬の作用や注意点について講義する。</p> <p>この講義では、以下の知識の修得を目指す。</p> <p>①「薬が効く」とはどういうことか認識し、作用部位に達した薬物の量と作用により薬効が決まることを理解する。</p> <p>②薬物の生体内における動きと作用に関する基本的知識を修得する。</p> <p>③医薬品が人体に作用する過程を理解し、代表的な薬物の作用機序および体内での運命に関する基本的知識を修得する。</p>				
到達目標	<p>次の項目について説明できる：</p> <p>○疾病の背景と薬による治療の基本概念 ○薬物の用量と作用の関係 ○薬の作用する仕組み（受容体・酵素・イオンチャネルを例に挙げて） ○薬の吸収・分布・代謝・排泄と、投与方法の違いによる薬の体内動態と作用発現の特徴 ○薬の作用に影響を及ぼす因子とその背景 ○薬物の主作用と副作用（有害作用）、毒性との関連 ○副作用と有害事象の違い ○医薬品と栄養素・サプリメントの違い</p> <p>○以下に挙げる薬物の作用機序、主な副作用(有害作用) ○交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物 ○副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物 ○運動神経に作用する代表的な薬物 ○知覚神経に作用する代表的な薬物（局所麻酔薬など） ○代表的な全身麻酔薬 ○代表的な催眠薬 ○代表的な鎮痛薬 ○代表的な中枢神経疾患（てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など）の治療薬 ○代表的な精神疾患（統合失調症、うつ病など）の治療薬</p>				
成績評価方法	講義内容全般に関する筆記試験を実施する。満点の6割以上の得点を合格とし、6割未満の場合は再試験を一回に限り実施する。				
成績評価基準	<p>特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる</p> <p>最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる</p> <p>目標に到達していない； 説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	イントロダクション 薬理学総論①	薬の概念 医薬品と法令	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
2	薬理学総論②	薬物の主作用・副作用・有害作用	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
3	薬理学総論③	薬物と治療効果の関係 薬物の血液中濃度	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
4	薬理学総論④	薬物の投与方法と体内動態 (ADME) ①	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
5	薬理学総論⑤	薬物の投与方法と体内動態 (ADME) ②	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
6	薬理学総論⑥	薬物の標的と細胞内情報伝達	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
7	末梢神経薬理①	筋弛緩薬 局所麻酔薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
8	末梢神経薬理②	自律神経作用薬①	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」な	蓬田

				どの専門科目との関連を確認する。	
9	末梢神経薬理③	自律神経作用薬②	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
10	末梢神経薬理④	自律神経作用薬③	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
11	中枢神経薬理①	全身麻酔薬 催眠薬・抗不安薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
12	中枢神経薬理②	抗てんかん薬 抗パーキンソン病薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
13	中枢神経薬理③	抗精神病薬 抗うつ薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
14	中枢神経薬理④	認知症治療薬 麻薬性鎮痛薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
15	講義のまとめ	講義のまとめ	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田

日付

6.4. 9 (火) 5
6.4.16 (火) 5
6.4.23 (火) 5
6.4.30 (火) 5
6.5. 7 (火) 5
6.5.14 (火) 5
6.5.21 (火) 5
6.5.28 (火) 5
6.6. 4 (火) 5
6.6.11 (火) 5
6.6.18 (火) 5
6.6.25 (火) 5
6.7. 2 (火) 5
6.7. 9 (火) 5
6.7.16 (火) 5

教科書	渡邊泰秀ほか編：コメディカルのための薬理学（第3版），朝倉書店，2018
参考書	今日の治療薬-解説と便覧-（最新版），南江堂（注：後期開講の「臨床薬理学」では教科書として指定しています）
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目において	非該当

あらかじめ修得しておかなければならない科目	
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	臨床薬理学	科目英語表記	Clinical Pharmacology		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一				
科目責任者氏名	蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	<p>臨床の現場で遭遇する種々の病態がどのようなメカニズムにより発現するのか、またその症状を改善するためにはどのような薬物療法を行えば良いのか、薬物の薬理作用に基づいて解説する。また、薬物を使用した際に注意すべき副作用についても講義する。</p> <p>この講義では、循環器系、呼吸器系、内分泌系、消化器系、腎・血液・造血器系、代謝系、炎症・アレルギーに作用する薬物に関する基本的知識、人体に疾患を生じる細菌・ウイルスなどに対する薬物の作用機序を理解し、抗菌薬などに関する基本的知識を修得することを目指す。</p>				
到達目標	<p>次の項目について説明できる：</p> <p>○代表的なアレルギー疾患治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な抗炎症薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な鎮咳・去痰薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な気管支喘息治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な抗不整脈薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な心不全治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な虚血性心疾患治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な高血圧症治療薬の作用機序および主な副作用 ○利尿薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な制吐薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な止血薬・抗血栓薬・造血薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な糖尿病治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な高脂血症治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な感染症治療薬の作用機序および主な副作用 ○代表的な抗腫瘍薬の作用機序および主な副作用</p>				
成績評価方法	講義内容全般に関する筆記試験を実施する。満点の6割以上の得点を合格とし、6割未満の場合は再試験を一回に限り実施する。				
成績評価基準	<p>特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる</p> <p>最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる</p> <p>目標に到達していない； 説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	臨床薬理学総論	医薬品の剤形 医薬品の安全性情報 新薬の開発 薬害	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
2	炎症性疾患治療薬	抗炎症薬①	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
3	炎症性疾患治療薬	抗炎症薬② 抗アレルギー薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
4	呼吸器系疾患治療薬	気管支喘息治療薬 鎮咳薬・去痰薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
5	循環器系疾患治療薬①	抗高血圧薬 抗狭心症薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田

6	循環器系疾患治療薬②	抗不整脈薬 強心薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
7	腎臓作用薬	利尿薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
8	血液疾患治療薬①	貧血治療薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
9	血液疾患治療薬①	抗凝血薬 抗血小板薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
10	消化器系疾患治療薬①	消化性潰瘍治療薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
11	消化器系疾患治療薬②	制吐薬 下剤	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
12	代謝性疾患治療薬①	高脂血症治療薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
13	代謝性疾患治療薬②	糖尿病治療薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
14	化学療法薬	感染症治療薬 抗腫瘍薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
15	講義のまとめ	講義のまとめ	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学Ⅰ」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田

日付

毎週火曜日 6 限目

教科書	今日の治療薬-解説と便覧- (最新版), 南江堂
参考書	渡邊泰秀ほか編: コメディカルのための薬理学 (第3版), 朝倉書店, 2018 (前期開講の「薬理学」で教科書に指定しています) 吉岡充ほか著: 薬理学14版: 系統看護学講座専門基礎分野, 医学書院, 2018 町谷安紀著: イラストで理解するかみくだき薬理学, 南山堂, 2018
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当

先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	薬理・臨床薬理学	科目英語表記	Pharmacology and Clinical Pharmacology		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一				
科目責任者氏名	蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	<p>現代の医療は、大きく分けると3つの柱（生活指導[疾病予防]・薬物療法・外科手術）によって行われているが、そのなかで薬物療法は中心的な役割を担っている。理学・作業療法に携わる専門職が薬物療法に直接関わる場面は限られるが、対象とする患者のほとんどは何らかの薬物治療を受けており、服用する薬物の種類によっては理学・作業療法に影響を及ぼす可能性も考えられる。したがって、薬物療法に直接関わることは無くても、疾患の治療や回復に携わる人間として薬物についての一定の知識を持っていることが求められる。本科目では、医薬品がどのように疾患の治療に寄与しているのか、基本的な事項について概説するとともに、頻用される治療薬の作用や注意点について講義する。</p> <p>この講義を通して以下の知識の修得を目指す。</p> <p>①「薬が効く」とはどういうことか認識し、作用部位に達した薬物の量と作用により薬効が決まることを理解する。</p> <p>②薬物の生体内における動きと作用に関する基本的知識を修得する。</p> <p>③医薬品の作用する過程を理解し、代表的な薬物の作用機序および体内での運命に関する基本的知識を修得する。化学物質としての医薬品と食品・サプリメントの違いについて理解する。</p> <p>④医療現場で使用されることが多い治療薬の作用機序と代表的な副作用（有害作用）について理解する。</p>				
到達目標	<p>次の項目について説明できる：</p> <p>○疾病の背景と薬による治療の基本概念 ○薬物の用量と作用の関係 ○薬の作用する仕組み（受容体・酵素・イオンチャネルを例に挙げて） ○薬の吸収・分布・代謝・排泄と、投与方法の違いによる薬の体内動態と作用発現の特徴 ○薬の作用に影響を及ぼす因子とその背景 ○薬物の主作用と副作用（有害作用）、毒性との関連 ○副作用と有害事象の違い ○医薬品と栄養素・サプリメントの違い</p> <p>○以下に挙げる薬物の作用機序、主な副作用(有害作用) ○代表的な抗炎症薬、解熱鎮痛薬 ○代表的な循環器系疾患（高血圧、不整脈、虚血性心疾患、心不全）治療薬（抗血小板薬を含む） ○代表的な鎮痛薬、神経因性疼痛治療薬 ○代表的な催眠薬 ○代表的な中枢神経疾患（てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など）治療薬 ○代表的な精神疾患（統合失調症、うつ病など）治療薬</p> <p>○リハビリテーション施行時に注意すべき薬物の副作用（有害作用）を予測できる。</p>				
成績評価方法	講義内容全般に関する筆記試験を実施する。満点の6割以上の得点を合格とし、6割未満の場合は再試験を一回に限り実施する。				
成績評価基準	<p>特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる</p> <p>最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる</p> <p>目標に到達していない； 説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	イントロダクション 薬理学総論①	薬の概念 医薬品と法令	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
2	薬理学総論②	薬物の主作用・副作用・有害作用	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
3	薬理学総論③	薬物と治療効果の関係 薬物の血液中濃度	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
4	薬理学総論④	薬物の投与方法 薬物の体内動態（ADME）①	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
5	薬理学総論⑤	薬物の投与方法 薬物の体内動態（ADME）②	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
6	薬理学総論⑥	薬物の標的 細胞内情報伝達	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。	蓬田
7	臨床薬理学各論①	自律神経作用薬の概要と有害作用	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田

8	臨床薬理学各論②	痛みの発生機序とその制御	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
9	臨床薬理学各論③	炎症反応とその制御	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
10	臨床薬理学各論④	神経疾患とその制御	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
11	臨床薬理学各論⑤	精神疾患とその制御	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
12	臨床薬理学各論⑥	循環器系疾患とその制御①	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
13	臨床薬理学各論⑦	循環器系疾患とその制御②	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
14	臨床薬理学各論⑧	眠りの機序と催眠薬	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田
15	講義のまとめ	講義のまとめ	講義	配付した資料で知識の定着を確認する。 「生体機能学」「病理学」などの専門科目との関連を確認する。	蓬田

日付

6.4. 9 (火) 5
6.4.16 (火) 5
6.4.23 (火) 5
6.4.30 (火) 5
6.5. 7 (火) 5
6.5.14 (火) 5
6.5.15 (水) 1
6.5.22 (水) 1
6.5.29 (水) 1
6.6. 5 (水) 1
6.6.12 (水) 1
6.6.19 (水) 1
6.6.26 (水) 1
6.7. 3 (水) 1
6.7.10 (水) 1

教科書	内山靖ほか編：リハベーシック薬理学・臨床薬理学（第2版），医歯薬出版，2024
参考書	笹栗俊之著：患者さんと医療系学生のための臨床薬理学入門－くすりを正しく用いるために－，九州大学出版会，2016 今日の治療薬-解説と便覧-（最新版），南江堂
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2／理学5／作業2／作業3

先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	病理学	科目英語表記	Pathology		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 前田 邦彦 教授 菊池 昭夫 教授 遠藤 和子				
科目責任者氏名	遠藤 和子				
学内連絡教員氏名	遠藤 恵子：研究室20 kendo@yachts.ac.jp				
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	主な疾病における原因（病因）、発症の機序、進展過程、臨床像との関連、転帰、対応や治療戦略などについて、前期で学習した生体形態学、生体組織学、生体機能学の基盤の上に、器官・組織・細胞の変化として、総論的に学習する。科学的根拠に基づくケアを実践できる基礎的能力を培う。				
到達目標	1. 主要な疾患について、発生機序、病態、経過を説明できる。 2. 主要な疾患の病態から、人の健康と生活に及ぼす影響を考察できる				
成績評価方法	定期試験70%、討議の参加度30%				
成績評価基準	特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	人の寿命と生活	人の一生の生活と寿命	講義	講義の復習	遠藤
2	病理学総論	病理学の概念、疾病の外因と内因	講義	講義の復習	前田
3	血液	血液の組成、構造と機能	講義	講義の復習	前田
4	循環障害①	局所及び全身循環障害の病態	講義	講義の復習	前田
5	循環障害②	局所及び全身循環障害の病態	講義	講義の復習	前田
6	腫瘍①	腫瘍総論	講義	講義の復習	前田
7	腫瘍②	腫瘍の病態と経過	講義	講義の復習	前田
8	細胞傷害、変性、細胞死、再生	刺激に対する細胞の種々の応答とそれに伴う変化 細胞の傷害と治療過程	講義	講義の復習	菊池
9	老化と死	老化、心臓死、脳死	講義	授業の復習	菊池
10	神経系疾患①	神経系疾患の発生機序、病態、経過	講義	講義の復習	菊池
11	神経系疾患②	神経系疾患の発生機序、病態、経過	講義	講義の復習	菊池
12	腎疾患①	腎疾患の病態生理、症状と生活への影響	演習、グループワーク	講義の復習、関連図作成	スポット（宅井）、遠藤和子
13	腎疾患②	腎疾患の病態と症状、生活への影響	演習	講義の復習	スポット（宅井）、遠藤和子
14	科学的根拠に基づく実践	病理学を科学的根拠とした実践	演習、討議	講義の復習	スポット（宅井）、遠藤和子
15	まとめ	学習状況の確認と振り返り	試験と振り返り		遠藤和子、菊池
日付					

教科書	はじめの一步の病理学 -第2版- (羊土社)
参考書	坂本穆彦、北川昌伸、仁木利郎(編) 標準病理学 第4版 (西村書店) 松原修、真鍋俊明(著) カラーアトラス-病理組織の見方と鑑別診断 第5版 (医歯薬出版) 疾病論 第2版 人間が病気になるということ 井上泰 (医学書院) 病態生理学 (メディカ出版)
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	遠藤恵子 研究室20 kendo@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	病理学	科目英語表記	Pathology		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 前田 邦彦 教授 菊池 昭夫 教授 遠藤 和子				
科目責任者氏名	遠藤 和子				
学内連絡教員氏名	遠藤 恵子：研究室20 kendo@yachts.ac.jp				
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	主な疾病における原因（病因）、発症の機序、進展過程、臨床像との関連、転帰、対応や治療戦略などについて、前期で学習した生体形態学、生体組織学、生体機能学の基盤の上に、器官・組織・細胞の変化として、総論的に学習する。科学的根拠に基づくケアを実践できる基礎的能力を培う。				
到達目標	1. 主要な疾患について、発生機序、病態、経過を説明できる。 2. 主要な疾患の病態から、人の健康と生活に及ぼす影響を考察できる				
成績評価方法	定期試験70%、討議の参加度30%				
成績評価基準	特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	人の寿命と生活	人の一生の生活と寿命	講義	講義の復習	遠藤
2	病理学総論	病理学の概念、疾病の外因と内因	講義	講義の復習	前田
3	血液	血液の組成、構造と機能	講義	講義の復習	前田
4	循環障害①	局所及び全身循環障害の病態	講義	講義の復習	前田
5	循環障害②	局所及び全身循環障害の病態	講義	講義の復習	前田
6	腫瘍①	腫瘍総論	講義	講義の復習	前田
7	腫瘍②	腫瘍の病態と経過	講義	講義の復習	前田
8	細胞傷害、変性、細胞死、再生	刺激に対する細胞の種々の応答とそれに伴う変化 細胞の傷害と治療過程	講義	講義の復習	菊池
9	老化と死	老化、心臓死、脳死	講義	授業の復習	菊池
10	神経系疾患①	神経系疾患の発生機序、病態、経過	講義	講義の復習	菊池
11	神経系疾患②	神経系疾患の発生機序、病態、経過	講義	講義の復習	菊池
12	腎疾患①	腎疾患の病態生理、症状と生活への影響	演習、グループワーク	講義の復習、関連図作成	スポット（宅井）、遠藤和子
13	腎疾患②	腎疾患の病態と症状、生活への影響	演習	講義の復習	スポット（宅井）、遠藤和子
14	科学的根拠に基づく実践	病理学を科学的根拠とした実践	演習、討議	講義の復習	スポット（宅井）、遠藤和子
15	まとめ	学習状況の確認と振り返り	試験と振り返り		遠藤和子、菊池
日付					

教科書	はじめの一步の病理学 -第2版- (羊土社)
参考書	坂本穆彦、北川昌伸、仁木利郎(編) 標準病理学 第4版 (西村書店) 松原修、真鍋俊明(著) カラーアトラス-病理組織の見方と鑑別診断 第5版 (医歯薬出版) 疾病論 第2版 人間が病気になるということ 井上泰 (医学書院) 病態生理学 (メディカ出版)
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	遠藤恵子 研究室20 kendo@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	成人老年疾病論Ⅰ	科目英語表記	Adult and Geriatric DiseaseⅠ		
職名、担当教員氏名	学 長 上月 正博 非常勤講師 八巻 通安				
科目責任者氏名	上月 正博				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	将来、医療を担う者としては、疾患に罹患している対象者の病状を正しく評価し、そのヘルスニードを判断する能力を涵養するために、各疾患の病因、病態生理、病理、症状、検査、診断、治療、予防などについての最新の知見の理解と習得が必須である。本講義では、呼吸器系、腎・泌尿器系、循環器系、生殖器系、アレルギー・膠原病疾患の領域において、代表的な疾患の病理所見や臨床的特徴、治療の概要などを学習し、医療専門職として、それらの疾患に適切に対応しうる科学的基盤を確立する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心・循環器疾患における臨床徴候および検査診断法を概説できる ・虚血性心疾患の病態、治療、介助などを説明できる ・不整脈を分類し、その治療法を概説できる ・先天性心疾患を列挙し、その治療法を概説できる ・動脈硬化症および本態性高血圧症の病態、合併症、治療、介入法などについて説明できる ・呼吸器疾患・呼吸機能障がいにおける臨床徴候および検査診断法を概説できる ・慢性閉塞性肺疾患の病態と対応を説明できる ・呼吸器領域における感染症を列挙し、それぞれの特性と治療法を説明できる ・呼吸器領域における腫瘍性病変を分類し、それぞれの診断法、治療法を概説できる ・腎・泌尿器疾患における臨床徴候および検査診断法を概説できる ・急性・慢性腎不全の病態と対応を説明できる ・各種糸球体疾患を分類し、それぞれの特性を説明できる ・腎・泌尿器領域における感染症を列挙し、それぞれの特性と治療法を説明できる ・腎・泌尿器領域における腫瘍性病変を分類し、それぞれの診断法、治療法を概説できる ・排尿障がいの病因を分類し、それぞれに対する対応を概説できる ・前立腺肥大症および前立腺腫瘍の病態、臨床徴候、治療法、対応を概説できる ・男性生殖器疾患における臨床徴候および検査診断法を概説できる ・男性生殖器における腫瘍性疾患を列挙し、それぞれの病態、診断法、治療法を説明できる ・女性生殖器疾患における臨床徴候および検査診断法を概説できる ・性感染症および骨盤内炎症性疾患を列挙し、それぞれの特性、診断法、治療法を説明できる ・女性生殖器における腫瘍性疾患を列挙し、それぞれの病態、診断法、治療法を説明できる ・妊娠、出産に伴う病態を概説できる ・膠原病・自己免疫疾患を分類し、代表的疾患における病態、検査診断法、治療法、対応を概説できる 				
成績評価方法	定期試験の総合成績(100点満点)で評価。ただし、積極的に質問する(+10点)講師の質問に答える(0点)、講師の質問に答えない(-10点)などの普段の学習態度も加味する。尚、合格基準は100点満点に換算して、60点以上をもって、合格とする。				
成績評価基準	すべての到達目標に対して、到達の程度を以下の基準で評価する。 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて、論理的に具体的に説明できる。 優れている；適切で十分な根拠をふまえて、論理的に説明できる。 良好である；根拠をふまえて、論理的に説明できる。 最低限の到達；根拠は不十分だが、ある程度論理的に説明できる。 目標に達していない；説明できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	循環器疾患・心臓機能障がい	心臓ならびに血管を主座とする各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
2	循環器疾患・心臓機能障がい	心臓ならびに血管を主座とする各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネ	八巻

				ットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	
3	循環器疾患・心臓機能障がい	心臓ならびに血管を主座とする各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
4	呼吸器系疾患・呼吸障がい	呼吸器系器官の各種疾患についての病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
5	呼吸器系疾患・呼吸障がい	呼吸器系器官の各種疾患についての病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
6	呼吸器系疾患・呼吸障がい	呼吸器系器官の各種疾患についての病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
7	女性生殖器系疾患	女性生殖器系器官（卵巣、子宮、外陰）、妊娠・出産に関連する各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
8	女性生殖器系疾患	女性生殖器系器官（卵巣、子宮、外陰）、妊娠・出産に関連する各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	八巻
9	男性生殖器系疾患	男性生殖器系器官（精巣、前立腺、陰茎）に関連する各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
10	男性生殖器系疾患	男性生殖器系器官（精巣、前立腺、陰茎）に関連する各種疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
11	腎・泌尿器系疾患	腎・泌尿器系器官の各種疾患についての病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月

12	腎・泌尿器系疾患	腎・泌尿器系器官の各種疾患についての病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
13	腎・泌尿器系疾患	腎・泌尿器系器官の各種疾患についての病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
14	膠原病・自己免疫疾患	主要な膠原病・自己免疫疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
15	膠原病・自己免疫疾患	主要な膠原病・自己免疫疾患の病態、疫学、臨床、診断、治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月

日付

6.4. 9 (火) 4
6.4.16 (火) 4
6.4.23 (火) 4
6.4.30 (火) 4
6.5. 7 (火) 4
6.5.14 (火) 4
6.5.21 (火) 4
6.5.28 (火) 4
6.6. 3 (月) 1
6.6.10 (月) 1
6.6.17 (月) 1
6.6.24 (月) 1
6.7. 1 (月) 1
6.7. 8 (月) 1
6.7.22 (月) 1

教科書	看護のための臨床病態学 改訂5版 (南山堂)
参考書	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 第4版 (医学書院)
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	

教員の連絡先	上月正博：kohzuki@yachts.ac.jp 学長室 (686-6601)
備考	

授業科目	成人老年疾病論Ⅱ	科目英語表記	Adult and Geriatric Disease Ⅱ		
職名、担当教員氏名	学 長 上月 正博 名誉学長 前田 邦彦				
科目責任者氏名	上月 正博				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	<p>将来医療を担う者としては、疾患に罹患している対象者の病状を正しく評価し、そのヘルスノードを判断する能力を涵養するために、各疾患の病因、病態生理、病理、症状、検査、診断、治療、予防などについての最新の知見の理解と習得が必須である。本講義では、消化器系、血液・造血器系、皮膚、感覚器系（眼、耳、鼻）の領域において、代表的な疾患の病理所見や臨床的特徴、診断・治療の概要などを学習し、医療専門職として、それらの疾患に適切に対応しうる科学的基盤を確立する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器系疾患における主要な臨床徴候、疫学、検査・診断方法を説明できる ・上部消化管の炎症性疾患の病態、診断、予防・対応を概説できる ・消化性潰瘍の病態、診断、予防・対応を概説できる ・消化管の運動異常や循環障がいについて、その病理、診断、治療を説明できる ・吸収障がいとそれに基づく病態を列挙できる ・炎症性腸疾患の病態と治療対応を説明できる ・食道、胃、大腸の腫瘍性疾患について、その病理、診断、治療を説明できる ・ウイルス性肝炎を分類し、それぞれの特性、検査法、予防法を概説できる ・肝硬変の病態、合併症、対応を説明できる ・肝腫瘍を分類し、それぞれの病理、診断法、治療について説明できる ・胆道系の炎症・腫瘍について、それぞれの病理、診断法、治療を説明できる ・急性膵炎、慢性膵炎の原因、病態、検査、治療、対応を説明できる ・膵腫瘍を分類し、それぞれの病理、診断法、治療について説明できる ・血液・造血器系疾患における主要な臨床徴候、検査診断方法を説明できる ・貧血の病態、診断、予防・治療法を概説できる ・急性白血病を分類し、それぞれの病態、検査診断法、治療を説明できる ・骨髄増殖性疾患を分類し、それぞれの病態、検査診断法、治療を説明できる ・出血性疾患・凝固異常を分類し、それぞれの病態、検査診断法、治療を概説できる ・脾腫をきたす疾患を分類し、それぞれの原因、特性を説明できる ・リンパ増殖性疾患を分類し、それぞれの病理、臨床的特質、治療を説明できる ・皮膚疾患における主要な臨床徴候、検査診断方法を説明できる ・非感染性皮膚炎、水疱性疾患、角化異常症について病理、臨床的特質、治療を説明できる ・皮膚の母斑症および関連腫瘍について、病理、臨床的特質、治療を説明できる ・耳鼻咽喉疾患における主要な臨床徴候、検査・診断方法を概説できる ・中耳炎の病態、臨床徴候、治療法、介入などを概説できる ・聴力障がい（難聴）、メニエール病、良性発作性頭位めまい症などについて、その臨床徴候、検査・診断方法、治療・対応について概説できる ・前庭障がいの原因と対応について説明できる ・鼻疾患（アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎、鼻・副鼻腔腫瘍など）について、その臨床徴候、検査・診断方法、治療・対応を概説できる ・口腔・咽頭・喉頭疾患（味覚障害、睡眠時無呼吸症候群、口腔～喉頭腫瘍などを含む）について、それぞれの臨床徴候、検査・診断方法、治療・対応を概説できる ・音声障害・構音障害・言語障害を分類し、それぞれの特徴を説明できる ・嚥下のメカニズムを説明し、嚥下障害を分類できる ・各種唾液腺疾患について、臨床徴候、検査・診断方法を概説できる ・視覚器疾患における主要な臨床徴候、検査・診断方法を概説できる ・屈折異常、眼瞼疾患、角・結膜疾患、強膜疾患について、その診断、治療、予防を説明できる ・網膜眼底疾患について、病理、臨床的特質、治療を説明できる ・白内障および緑内障について、病態、診断、治療法を説明できる 				
成績評価方法	<p>定期試験の総合成績(100点満点)で評価。ただし、積極的に質問する(+10点)講師の質問に答える(0点)、講師の質問に答えない(-10点)などの普段の学習態度も加味する。尚、合格基準は100点満点に換算して、60点以上をもって、合格とする。</p>				
成績評価基準	<p>すべての達目標に対して、到達の程度を以下の基準で評価する。 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて、論理的に具体的に説明できる。 優れている；適切で十分な根拠をふまえて、論理的に説明できる。 良好である；根拠をふまえて、論理的に説明できる。 最低限の到達；根拠は不十分だが、ある程度論理的に説明できる。 目標に達していない；説明できない。</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	消化器系疾患（消化管疾患）	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門管の疾患についての疫学・病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
2	消化器系疾患（消化管疾患）	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門管の疾患についての疫学・病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
3	消化器系疾患（消化管疾患）	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門管の疾患についての疫学・病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
4	消化器系疾患（消化管疾患）	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門管の疾患についての疫学・病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
5	消化器系疾患（肝・胆・膵疾患）	肝臓、胆道（胆管・胆嚢）、膵臓の疾患の病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
6	消化器系疾患（肝・胆・膵疾患）	肝臓、胆道（胆管・胆嚢）、膵臓の疾患の病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	上月
7	皮膚疾患	皮膚を主座とする各種疾患の病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	前田
8	皮膚疾患	皮膚を主座とする各種疾患の病理・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	前田
9	血液・造血管系疾患	末梢血液、骨髄、脾臓、リンパ節などを主座とする各種疾患の疫学・病態・	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	前田

10	血液・造血管系疾患	末梢血液、骨髄、脾臓、リンパ節などを主座とする各種疾患の疫学・病態・	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	前田
11	血液・造血管系疾患	末梢血液、骨髄、脾臓、リンパ節などを主座とする各種疾患の疫学・病態・	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	前田
12	耳鼻咽喉科領域疾患	外耳、中耳、内耳、鼻腔、喉頭などの疾患の病態・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	青柳
13	耳鼻咽喉科領域疾患	外耳、中耳、内耳、鼻腔、喉頭などの疾患の病態・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	青柳
14	眼科領域疾患	角結膜、ブドウ膜、網膜、眼窩などの疾患の病態・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	大村
15	眼科領域疾患	角結膜、ブドウ膜、網膜、眼窩などの疾患の病態・臨床症候・診断・治療	座学。教科書を用いて講義をおこない、質疑応答をおこなうので、講義の際には教科書を持参する必要がある。	本講義が担当する分野は膨大で、授業ではその一部についてふれるのみとなるので、参考図書や図書館、インターネットなどを利用して、授業以外の時間にもより広く学習をすること。	大村

日付

6.4.8 (月) 1
6.4.15 (月) 1
6.4.22 (月) 1
6.5.13 (月) 1
6.5.20 (月) 1
6.5.27 (月) 1
6.6.5 (水) 4
6.6.12 (水) 4
6.6.13 (木) 3
6.6.19 (水) 4
6.6.26 (水) 4
6.6.27 (木) 5
6.7.3 (水) 4
6.7.4 (木) 5
6.7.11 (木) 5

教科書	看護のための臨床病態学 改訂5版 (南山堂)
参考書	① はじめの一步のイラスト病理学 (羊土社) -- 「疾病科学」 で用いた教科書 ② 臨床病態学 1～3 (ヌーベルヒロカワ) ③ 系統看護学講座 成人看護学シリーズ (医学書院) ④ 標準理学療法学・作業療法学 (専門基礎分野) 内科学、第4版 (医学書院) ⑤ ナーシング・グラフィカシリーズ (呼吸・循環機能障害、栄養代謝機能障害など) (MCメディカ出版) ⑥ チーム医療従事者のための臨床医学全科 (金芳堂)

ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	上月正博：kohzuki@yachts.ac.jp 学長室（686-6601）
備考	

授業科目	成人老年疾病論Ⅲ	科目英語表記	Adult and Geriatric Disease III		
職名、担当教員氏名	教授 石川 仁 教授 菊池 昭夫 教授 村 成幸 非常勤講師 諏佐 真治				
科目責任者氏名	石川 仁				
学内連絡教員氏名	石川 仁				
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	将来、看護を担う者としては、疾患に罹患している対象者の病状を正しく評価し、そのヘルスニードを判断する能力を涵養するために、各疾患の病因、病態生理、病理、症状、検査、診断、治療、予防などについての最新の知見の理解と習得が必須である。本講義では、歯・口腔疾患、脳・神経疾患、代謝・内分泌疾患、運動器疾患、乳腺疾患の各分野において、代表的な疾患の病理所見や臨床的特徴、治療の概要などを説明し、医療専門職として、それらの疾患に適切に対応しうる科学的基盤を確立する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ホルモン過剰症、低下症にともなう臨床徴候および検査診断法を概説できる ・脳下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵島の疾患について、病態、臨床徴候、診断法、治療と介助を説明できる ・糖尿病の診断基準、分類、病態、合併症、治療について述べる事ができる ・脂質異常症の分類、病態、合併症、治療について説明できる ・肥満症の疫学、病態、予防について説明できる ・尿酸代謝異常、痛風の病態、治療、予防について説明できる ・脳血管障害の原因、病態、診断検査法、治療について説明できる ・脳腫瘍・脊髄腫瘍を分類し、各々の病理、好発部位、治診断、治療を説明できる ・中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患について概説できる ・頭部外傷における病態、治療・対応、介護などを説明できる ・中枢神経系の先天性疾患について、概説できる ・運動器の構造を理解し、それが障害される疾患について説明できる ・関節の働きを理解し、変形性関節症、関節リウマチ、発育性股関節形成不全の病態を述べる事ができる ・脊髄損傷、上肢、下肢におこる代表的な骨折あるいは外傷を説明できる ・主要な骨腫瘍および軟部腫瘍の病理、診断、治療を説明できる ・歯、口腔、舌、顎関節、唾液腺における疾病、障害を列挙し、それぞれの臨床徴候、検査法、治療法、介助などを説明できる ・乳癌について、その疫学、臨床的特徴、病理、検査診断法、鑑別診断、治療を概説できる 				
成績評価方法	知識の定着度や理解度の評価は定期試験（筆記試験）の成績で評価する。評価時期は定期試験1回のみとする。尚、合格基準は100点満点に換算して、60点以上をもって合格とする。				
成績評価基準	到達目標をすべて説明できる。 特に優れている：積極的に授業へ参加し到達目標を適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる。 優れている：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を踏まえて論理的に説明できる。 良好である：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を用いてある程度論理的に説明できる。 最低限の到達：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる。 目標に到達していない：説明できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	授業オリエンテーション 内分泌・代謝性疾患	脂質異常症、肥満・メタボリック症候群、尿酸代謝異常について学ぶ	講義	脂質異常症、肥満・メタボリック症候群、尿酸代謝異常について病態を中心に予習する 脂質異常症、肥満・メタボリック症候群、尿酸代謝異常について臨床像、診断、治療、予防を復習する	石川 諏佐
2	内分泌疾患	下垂体、甲状腺疾患について学ぶ	講義	下垂体、甲状腺疾患について病態を中心に予習する 下垂体、甲状腺疾患について臨床像、診断、治療を復習する	諏佐
3	内分泌疾患	副甲状腺、副腎疾患、その他	講義	副甲状腺、副腎疾患について病態を中心に予習する 副甲状腺、副腎疾患について臨床像、診断、治療を復習する	諏佐

4	脳・神経疾患	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの疾患について学ぶ	講義	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの病態を中心に予習する 脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	菊池
5	脳・神経疾患	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの疾患について学ぶ	講義	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの病態を中心に予習する 脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	菊池
6	脳・神経疾患	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの疾患について学ぶ	講義	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの病態を中心に予習する 脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	菊池
7	脳・神経疾患	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの疾患について学ぶ	講義	脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの病態を中心に予習する 脳血管障害、中枢神経の変性疾患、感染症、脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	菊池
8	代謝性疾患	糖尿病の病態、分類、急性合併症について学ぶ	講義	糖尿病の病態、分類、急性合併症について予習する 糖尿病の臨床像や分類、急性合併症などの診断法について復習する	諏佐
9	代謝性疾患	糖尿病の慢性合併症、治療、その他について学ぶ	講義	糖尿病の慢性合併症、治療について予習する 糖尿病の慢性合併症、治療について復習する	諏佐
10	運動器疾患	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの病態・臨床・診断・治療について学ぶ	講義	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの病態を中心に予習する 骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	村
11	運動器疾患	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの病態・臨床・診断・治療について学ぶ	講義	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの病態を中心に予習する 骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	村
12	運動器疾患	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの病態・臨床・診断・治療について学ぶ	講義	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの病態を中心に予習する 骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、外傷・スポーツ傷害、骨・軟部腫瘍などの臨床像、診断、治療を復習する	村
13	歯・口腔疾患	歯口腔の基礎と口腔ケアについて学ぶ	講義	歯口腔の基礎と口腔ケアについて予習する	スポット (柴田)

				歯口腔の基礎と口腔ケアについて復習する	
14	歯・口腔疾患	歯、舌、顎関節、唾液腺疾患について学ぶ	講義	歯、舌、顎関節、唾液腺疾患の病態について予習する 歯、舌、顎関節、唾液腺疾患の臨床像、診断、治療について復習する	スポット (青柳)
15	乳腺疾患	乳腺疾患の病理・診断・治療について学ぶ	講義	乳腺疾患の病理や病態について予習する 乳腺疾患の臨床像、診断、治療について復習する	スポット (木村)
日付					

教科書	看護のための臨床病態学（南山堂）
参考書	①はじめの一步のイラスト病理学（羊土社）--「疾病科学」で用いた教科書 ②臨床病態学1～3（ヌーベルヒロカワ） ③系統看護学講座 成人看護学シリーズ（医学書院） ④ナースング・グラフィカシリーズ-呼吸・循環機能障害、栄養代謝機能障害など-（MCメディカ出版） ⑤チーム医療従事者のための臨床医学全科（金芳堂）
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	石川仁：研究室24 hishikawa@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	リハビリテーション概論	科目英語表記	Introduction to Rehabilitation		
職名、担当教員氏名	教授 佐藤 寿晃 教授 鈴木 克彦 教授 加藤 浩 准教授 鈴木 由美 准教授 丹野 克子 講師 鈴木栄三郎 助教 工藤 大輔				
科目責任者氏名	佐藤 寿晃				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	リハビリテーションに関する基本的知識を教授する				
到達目標	1. リハビリテーションの概念を説明できる。 2. リハビリテーションに関わる専門職の特性を説明できる。 3. リハビリテーションにおけるチーム・アプローチのあり方を説明できる。 4. リハビリテーションに関連する保健・医療・福祉・介護の基本的な知識を習得する。				
成績評価方法	課題レポート（100％） 到達目標1～4				
成績評価基準	到達目標1～4を評価する 特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明（表現）できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明（表現）できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明（表現）できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明（表現）できる 目標に到達していない； 説明（表現）できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	リハビリテーションの理念	aリハビリテーションの定義・歴史、bノーマライゼーション、c自立生活、d QOL、e 総合リハビリテーションリハビリテーション医療の定義と歴史	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
2	リハビリテーションの諸相	医学的リハビリテーション、教育的リハビリテーション、職業的リハビリテーション、社会的リハビリテーションについて講義する。	講義	復習課題 授業内容の振り返りシートを提出してください。	鈴木克彦
3	リハビリテーションに関わるアスリートへのアプローチ1	aアスリートへの関わり方の資格や歴史 bスポーツ現場での関わり方	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	スポット (芹川)
4	リハビリテーションに関わるアスリートへのアプローチ2	aアスリートへのリハビリテーション b山形県内でのアスリートへの取り組み	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	スポット (芹川)
5	医学・生命科学におけるリハビリテーションの存在とその意義について	個人に即応し、綿密な計画の基に実践することが求められるリハビリテーションには、社会性や個人に備わった能力を十分に引き出すことが求められていることについて学ぶ。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	スポット (片方)
6	疾病・生活機能の概念と分類	a国際疾病分類（ICD）、b国際生活機能分類（ICF）	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	鈴木（栄）

7	リハビリテーションの専門職に求められる資質Ⅰ	理学療法士・作業療法士が身につけておくべき資質を学ぶ。演習を含む。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。その後、グループにて討議する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
8	生活について	生活とは何かについて学ぶ。障がい者が在宅で医療を受けながら生活していくことを考える。人や環境の多様性について学ぶ。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	鈴木（由）
9	リハビリテーションに関わる専門職（理学療法士）	理学療法士の役割と活動の概容を学ぶ。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	工藤
10	リハビリテーションに関わる専門職（作業療法士）	作業療法士の役割と活動の概容を学ぶ。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
11	リハビリテーションに関わる専門職（他職種）	保健・医療・福祉・介護の領域における、理学療法士・作業療法士以外の専門職について、役割と活動の概容を学ぶ。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	丹野
12	リハビリテーションにおけるチーム・アプローチ	チームに関する基本的理解と、チーム・アプローチを学ぶ。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	丹野
13	リハビリテーションの専門職に求められる資質Ⅱ	理学療法士・作業療法士が身につけておくべき資質を学ぶ。演習を含む。	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。その後、グループにて討議する。	講義終了後に復習してください。	佐藤
14	患者・障害者の心理・社会的側面	死生観、QOLについて、障がい受容について	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	スポット（藤原）
15	リハビリテーションのあり方	リハビリテーションとは何かを学生間で検討する。	グループにて討議後、討議結果は発表して共有する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 加藤

日付

6. 4. 8 (月) 1
6. 4.15 (月) 1
6. 4.22 (月) 1
6. 5.13 (月) 1
6. 5.20 (月) 1
6. 5.27 (月) 1
6. 6. 3 (月) 1
6. 6.10 (月) 1
6. 6.17 (月) 1
6. 6.24 (月) 1
6. 7. 1 (月) 1
6. 7. 8 (月) 1
6. 7.22 (月) 1
6. 7.23 (火) 1
6. 7.29 (月) 1

教科書	資料を配布します。参考図書は随時紹介します。
参考書	特になし
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学3／理学4／理学5／理学6／作業4／作業5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかな	非該当

ければならない科目	
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	佐藤 寿晃：研究室37 tsato@yachts.ac.jp 鈴木 克彦：研究室31 ksuzuki@yachts.ac.jp 加藤 浩：研究室36 hikato@yachts.ac.jp 鈴木 由美：研究室30 yusuzuki@yachts.ac.jp 丹野 克子：研究室6 ktanno@yachts.ac.jp 鈴木栄三郎：理・作研究室 esuzuki@yachts.ac.jp 工藤 大輔：理・作研究室 dkudo@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	救急医療学	科目英語表記	Emergency Medicine
職名、担当教員氏名	非常勤講師 武田 健一郎		
科目責任者氏名	武田 健一郎		
学内連絡教員氏名	佐藤 寿晃		
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修
授業形態	講義／実習若しくは実技	開講時期	後期
		単位数	1単位
授業概要	1) 救急医療の実際について現場の医師が講義を行う。 2) ショックの病態など生命予後に関わる様々な病態を教授する。 3) 最新の救急蘇生法を理解し、その技術を教授する。		
到達目標	1) バイタルサインを測定し、その測定結果を適切に評価できる。ショックの病態を理解し、その初期治療について説明できる。 2) 脳死の概念を理解し、日本の臓器移植の現状について説明できる。 3) 日本全国に整備されたドクターヘリの現状について説明できる。 4) 心肺停止の患者に対して、医療者として実際の現場で心肺蘇生法を実践することができる。		
成績評価方法	1) 講義の理解の程度：講義中に確認します。50% 2) 実習での知識技術の習得状況：実際の手技を行ってもらい確認します。50%		
成績評価基準	1) バイタルサインを測定し、その測定結果を適切に評価できる。ショックの病態を理解し、その初期治療について説明できる。 特に優れている バイタルサインの結果を適切に判断できる。その結果からショックと判断し、その原因疾患についても考察できる。 優れている バイタルサインの結果を適切に判断できる。その結果からショックと判断できる。 良好である バイタルサインの結果を適切に判断できる。 最低限の到達 バイタルサインに含まれる項目を挙げることができる。 目標に達していない バイタルサインが何であるか説明できない。 2) 脳死の概念を理解し、日本の臓器移植の現状について説明できる。 特に優れている 脳死について説明できる。法的脳死判定の方法を詳しく説明できる。 優れている 脳死について説明できる。法的脳死判定の方法をある程度説明できる。 良好である 脳死について説明できる。 最低限の到達 脳死という概念があることを理解できる。 目標に達していない 脳死について理解できない。 3) 日本全国に整備されたドクターヘリの現状について説明できる。 特に優れている ドクターヘリ活用の利点を挙げることができ、その中でも最も重症な点を指摘できる。ドクターヘリの活動を説明できる。 優れている ドクターヘリ活用の利点を挙げることができる。ドクターヘリの活動を説明できる。 良好である ドクターヘリ活用の利点を挙げることができる。 最低限の到達 ドクターヘリについてある程度説明できる。 目標に達していない ドクターヘリについて説明できない。 4) 心肺停止の患者に対して、医療者として実際の現場で心肺蘇生法を実践することができる。 特に優れている 最新のガイドラインに沿った心肺蘇生法を単独で実施出来る。 優れている 最新のガイドラインに沿った心肺蘇生法を他者がいれば実施できる 良好である 最新のガイドラインに沿った心肺蘇生法を指導者がいれば実施できる 最低限の到達 胸骨圧迫、BVMによる人工呼吸を確実に実践できる。 目標に達していない 心肺蘇生法を実践できない		

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	救急医療概論	救急医療の現状、実際について学ぶ。	講義への出席、配布資料の理解 不明な点は質問してください	日々の救急医療に関するニュースに注目し、情報収集に努めてください	武田
2	バイタルサイン ショックについて	バイタルサインの重要性を理解し、その測定方法、結果の解釈方法を学ぶ。 ショックの種類とそれぞれへの対処法を学ぶ。	講義への出席、配布資料の理解 不明な点は質問してください	日々の救急医療に関するニュースに注目し、情報収集に努めてください	武田

3	救急で遭遇する疾患について（熱傷、熱中症など） 脳死、臓器移植について	熱傷の重症度、応急処置について学ぶ。 毎年夏に話題となる熱中症についてその原因と対処法について学ぶ。 脳死の概念と判定基準、臓器移植の実際について学ぶ。	講義への出席、配布資料の理解 不明な点は質問してください	日々の救急医療に関するニュースに注目し、情報収集に努めてください	武田
4	心肺停止について 心肺蘇生法について ドクターヘリについて	心肺停止の原因とそれによる身体への影響について学ぶ。 ガイドラインに基づいた心肺蘇生法について学ぶ。 ドクターヘリの概念と活用方法について学ぶ。	講義への出席、配布資料の理解 不明な点は質問してください	日々の救急医療に関するニュースに注目し、情報収集に努めてください	武田
5	心肺蘇生法（実習）	蘇生練習用の人形を用いて、一次救命処置、気道異物除去、マスク換気、AED等を実践する。 （5～8回は県立中央病院医師、看護師7名が講師となります）	第4回目の講義内容を復習し、実習に臨んでください。実習中は、指導者が丁寧に指導します。	実習で身に付けた手技をいつでも活用できるように復習を行ってください。 BLS、ICLSなどのoff the job トレーニングコースが各地で開催されています。そういったコースへの参加も推奨します。	武田
6	心肺蘇生法（実習）	蘇生練習用の人形を用いて、一次救命処置、気道異物除去、マスク換気、AED等を実践する。 （5～8回は県立中央病院医師、看護師7名が講師となります）	第4回目の講義内容を復習し、実習に臨んでください。実習中は、指導者が丁寧に指導します。	実習で身に付けた手技をいつでも活用できるように復習を行ってください。 BLS、ICLSなどのoff the job トレーニングコースが各地で開催されています。そういったコースへの参加も推奨します。	武田
7	心肺蘇生法（実習）	蘇生練習用の人形を用いて、一次救命処置、気道異物除去、マスク換気、AED等を実践する。 （5～8回は県立中央病院医師、看護師7名が講師となります）	第4回目の講義内容を復習し、実習に臨んでください。実習中は、指導者が丁寧に指導します。	実習で身に付けた手技をいつでも活用できるように復習を行ってください。 BLS、ICLSなどのoff the job トレーニングコースが各地で開催されています。そういったコースへの参加も推奨します。	武田
8	心肺蘇生法（実習）	蘇生練習用の人形を用いて、一次救命処置、気道異物除去、マスク換気、AED等を実践する。 （5～8回は県立中央病院医師、看護師7名が講師となります）	第4回目の講義内容を復習し、実習に臨んでください。実習中は、指導者が丁寧に指導します。	実習で身に付けた手技をいつでも活用できるように復習を行ってください。 BLS、ICLSなどのoff the job トレーニングコースが各地で開催されています。そういったコースへの参加も推奨します。	武田

日付

6.10. 1（火）3
6.10. 8（火）3
6.10.15（火）3
6.10.22（火）3
6.11.16（土）1-4

教科書	教科書は指定しません。毎回講義内容の資料を配布します。
参考書	救急蘇生法の指針《2020》へるす出版（最新版を確認してください）
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1／理学5／作業2／作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかな	非該当

なければならない科目	
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	佐藤寿晃：研究室37 tsato@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	生殖遺伝学	科目英語表記	Reproductive Genetics		
職名、担当教員氏名	教授 遠藤 恵子 教授 蓬田 伸一				
科目責任者氏名	遠藤 恵子				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	性と生殖に関する形態機能と影響する薬剤、および遺伝の基礎的な知識を教授する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生殖器の構造と機能を説明できる。 2. 生殖機能や胎児に影響する薬物とその作用・影響を説明できる。 3. 人体の発生の機序を説明できる。 4. 生殖器の腫瘍や生殖機能の異常とその治療について説明できる。 5. 遺伝と出生前診断の基本を説明できる。 				
成績評価方法	筆記試験によって到達目標1～5の到達度を評価する。				
成績評価基準	到達目標1～5について A；適切で十分な根拠をふまえて、論理的に具体的に説明できる。 B；適切で十分な根拠をふまえて、論理的に説明できる。 C；根拠をふまえて、論理的に説明できる。 D；根拠は不十分で、論理的な説明でない。 F；説明できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	生殖機能とライフサイクル	性機能の発達、性周期	講義	事後学習；性機能の理解を深める	遠藤
2	生殖器の構造	男性生殖器、女性生殖器、骨盤周辺の筋肉	講義	事後学習；生殖器の解剖の理解を深める	仁藤充洋
3	不妊、生殖補助医療	不妊の検査、治療	講義	事後学習；不妊症の男女に対する看護を考察する	スポット（穴戸）
4	遺伝と出生前診断	遺伝相談、出生前診断	講義	事後学習；出生前診断を受けるカップルに対する看護を考察する	遠藤
5	生殖と薬物	生殖機能に関連する薬物、ホルモン薬	講義	事後学習；生殖機能に関連する薬物、ホルモン薬の理解を深める	蓬田
6	人体の発生	染色体、受精、胚、性分化	講義	事後学習；講義の復習	スポット（前田）
7	先天異常と薬害	催奇形性、薬害による胎児への影響	講義	事後学習；催奇形性、薬害による胎児への影響について理解を深める	蓬田
8	生殖器の主な疾患	生殖器の腫瘍、感染症	講義	事後学習；講義の復習	スポット（前田）
日付					
6.9.30（月）5					
6.10. 7（月）5					
6.10.21（月）5					
6.10.23（水）5					
6.10.28（月）5					
6.10.30（水）5					
6.11.11（月）5					
6.11.18（月）5					

教科書	
参考書	ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護, メディカ出版
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	遠藤恵子：研究室20 kendo@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	基礎保健学	科目英語表記	Basic Health Science																										
職名、担当教員氏名	非常勤講師 邵 力																												
科目責任者氏名	邵 力																												
学内連絡教員氏名	栗田 敦子：第2共同研究室 akurita@yachts.ac.jp																												
学科／分野	看護学科	学年	2年																										
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修																										
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	1単位																								
授業概要	情報が溢れている現在、保健・医療・介護に関するデータを活用する際に、情報の内容と質を見極める能力が必要とされている。本講義では疾病の予防における疫学の役割を解説する。さらに、種々の医療保健情報に用いられる健康指標・研究デザインについて説明し、正しく情報を判断できる能力を身につけさせる。																												
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康及び予防医学の概念について説明できる。 2. 疫学の考え方及び役割について理解できる。 3. 疾病統計の指標や国民衛生の動向について解説できる。 4. 疫学研究デザインの種類及びその長所・短所について理解できる。 5. わが国における感染症の発生動向及び新型コロナウイルス感染症対策について説明できる。 6. 生活習慣と非感染性疾患(NCDs)との関係及びその予防について説明できる。 7. がんの疫学及びがん予防について説明できる。 8. 根拠に基づく看護における疫学の役割について理解できる。 9. 遺伝要因と環境要因と疾患発症との関連について了解する。 10. ゲノム医療の概念及びがんゲノム医療の現状と課題について了解する。 																												
成績評価方法	方針：定期試験で評価する(100%)。 方法：筆記試験で講義内容の理解度、知識の応用力を評価する（授業終了後）。																												
成績評価基準	<p>基準：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>評価</th> <th>点数</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優れている</td> <td>A</td> <td>100~90</td> <td>適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>優れている</td> <td>B</td> <td>89~80</td> <td>根拠をふまえて論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>良好である</td> <td>C</td> <td>79~70</td> <td>根拠を用いてある程度論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>最低限の到達</td> <td>D</td> <td>69~60</td> <td>根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる</td> </tr> <tr> <td>目標に到達していない</td> <td>F</td> <td>59~0</td> <td>説明できない</td> </tr> </tbody> </table>					判定	評価	点数	基準	優れている	A	100~90	適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる	優れている	B	89~80	根拠をふまえて論理的に説明できる	良好である	C	79~70	根拠を用いてある程度論理的に説明できる	最低限の到達	D	69~60	根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる	目標に到達していない	F	59~0	説明できない
判定	評価	点数	基準																										
優れている	A	100~90	適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる																										
優れている	B	89~80	根拠をふまえて論理的に説明できる																										
良好である	C	79~70	根拠を用いてある程度論理的に説明できる																										
最低限の到達	D	69~60	根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる																										
目標に到達していない	F	59~0	説明できない																										

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	疫学入門	予防医学と疫学	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
2	疫学指標	健康・疾病統計の指標	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
3	疫学研究方法	疫学研究デザイン	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
4	疫学の応用1：感染症疫学	感染症の予防とCOVID-19	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
5	疫学の応用2：生活習慣病に関する疫学調査	生活習慣病の予防	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
6	疫学の応用3：がんの予防	がんの疫学とがん検診	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
7	疫学の応用4：EBN（根拠に基づく看護）	EBMと保健医療データの利活用	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力

				く。	
8	疫学の応用5：分子疫学とゲノム医療	ヒトゲノム計画とゲノム医療	講義	教科書や参考書を活用し、課題や国家試験の過去問を解く。	邵力
日付					
6. 9.30 (月) 2					
6.10. 7 (月) 2					
6.10.21 (月) 2					
6.10.28 (月) 2					
6.11.11 (月) 2					
6.11.18 (月) 2					
6.11.25 (月) 2					
6.12. 2 (月) 2					

教科書	基本からわかる看護疫学入門（第3版）（医歯薬出版）
参考書	公衆衛生マニュアル2024（南山堂） 図説国民衛生の動向2023/2024（厚生労働統計協会） はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版（南江堂） 基礎から学ぶ遺伝看護学（羊土社）
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	邵 力：山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学・衛生学講座 shori@med.id.yamagata-u.ac.jp 栗田敦子：第2共同研究室 akurita@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	保健統計学	科目英語表記	Health Statistics		
職名、担当教員氏名	助 教 栗田 敦子 非常勤講師 大益 史弘				
科目責任者氏名	栗田 敦子				
学内連絡教員氏名	栗田 敦子				
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	集団の健康課題を把握するための健康指標とそれらを導き出す統計解析手法等を習得することを目的とする。さらに、実践的に集団の健康指標を可視化し、健康課題抽出ができるよう、統計解析手法の演習を行う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 保健統計学の概要について説明することができる 健康指標の構造と各々の健康指標が持つ課題について具体的に述べるができる 人口統計や保健統計調査の特徴と各々の人口統計が持つ課題について具体的に述べるができる 統計学的手法を用いたデータの解析と集団の健康指標の可視化ができる 基本的なデータの事例を用いて、健康課題が抽出できる 				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験(保健統計学の基礎的知識と考え方、保健統計の実際)；60% 到達目標1～4を評価 演習の成果物(統計学的手法を用いてデータの解析と集団の健康指標を可視化した成果物)；40% 到達目標5を評価 				
成績評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 保健統計学の概要について説明することができる <ul style="list-style-type: none"> A；保健統計学の概要について十分に論理的に説明できる B；保健統計学の概要について論理的に説明できる C；保健統計学の概要についてある程度論理的に説明できる D；保健統計学の概要について根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる E；保健統計学の概要について説明できない 健康指標の構造と各々の健康指標が持つ課題について具体的に述べるができる <ul style="list-style-type: none"> A；健康指標の構造と課題について十分な根拠をふまえて具体的に述べるができる B；健康指標の構造と課題について根拠をふまえて具体的に述べるができる C；健康指標の構造と課題について根拠を用いてある程度具体的に述べるができる D；健康指標の構造と課題について根拠は乏しいがある程度具体的に述べるができる E；健康指標の構造と課題について具体的に述べるができない 人口統計や保健統計調査の特徴と各々の人口統計が持つ課題について具体的に述べるができる <ul style="list-style-type: none"> A；保健統計調査の特徴と課題について適切で十分な根拠をふまえて具体的に述べるができる B；保健統計調査の特徴と課題について根拠をふまえて具体的に述べるができる C；保健統計調査の特徴と課題について根拠を用いてある程度具体的に述べるができる D；保健統計調査の特徴と課題について根拠は乏しいがある程度具体的に述べるができる E；保健統計調査の特徴と課題について具体的に述べるができない 統計学的手法を用いてデータの解析と集団の健康指標を可視化ができる <ul style="list-style-type: none"> A；データの解析と集団の健康指標の可視化を適切で十分にできる B；データの解析と集団の健康指標の可視化ができる C；データの解析と集団の健康指標の可視化がある程度できる D；データの解析と集団の健康指標の可視化を部分的にある程度できる E；データの解析と集団の健康指標の可視化ができない 基本的なデータの事例を用いて、健康課題が抽出できる <ul style="list-style-type: none"> A；健康課題を十分に抽出できる B；健康課題の全体像を抽出できる C；健康課題を抽出できる D；健康課題を部分的に抽出できる E；健康課題が抽出できない 				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	保健統計指標I	・保健統計学の概要と、人口問題について学習する	講義	【予習】我が国の人口問題について、出生と死亡に関する動向を把握しておく	大益

2	保健統計指標II	・出生と死亡を中心とした健康の指標について学習する	講義	【復習】出生と死亡を含め、健康に関する最新のデータを検索しておく	大益
3	平均・分散・標準偏差	・様々な平均値と標準偏差の算出方法、また、それらの表す事象を学習する	講義	【復習】様々な平均値算出方法の応用例を考える	大益
4	相関係数	・相関の意味と相関係数の算出方法について学習する	講義	【復習】表計算ソフトを用いた相関係数の算出方法を調べる	大益
5	回帰直線	・直線回帰式の表わし方と求め方を学習する	講義	【復習】回帰直線の応用例を考える	大益
6	検定の理論	・正規分布性と確率分布曲線をもとにして検定の理論について学習する	講義	【予習】確率の概念と正規分布について調べる	大益
7	いろいろな検定法I	・F分布曲線とT分布曲線をもとにした検定方法を学習する	講義	【復習】表計算ソフトを用いた検定方法、特にT検定を確認する	大益
8	いろいろな検定法II	・カイ2乗分布曲線をもとにした検定方法を学習する	講義	【復習】表計算ソフトを用いた検定方法、特にカイ2乗検定を確認する	大益
9	表計算ソフトの活用 (情報処理方法とデータの可視化)①	・情報処理の基礎 ・健康情報の可視化	演習	授業で提示した課題を提出してください	栗田敦子 スポット講師
10	表計算ソフトの活用 (情報処理方法とデータの可視化)②	・データファイルの作成、データセット、表を作成する、関数を使う、グラフを書く(統計図表の作成) ・健康情報の可視化	演習	授業で提示した課題を提出してください	栗田敦子 スポット講師
11	表計算ソフトの活用 (情報処理方法とデータの可視化)③	単純推計とクロス集計(ピボットテーブルの活用) 図表のWord貼付と体裁の調整 論文やプレゼンテーションへの工夫	演習	授業で提示した課題を提出してください	栗田敦子 スポット講師
12	表計算ソフトの活用 (情報処理方法とデータの可視化)④	第9回～11回での授業で学んだ内容を踏まえ、見やすい図表を提示する最終課題に取り組みます	演習	授業で提示した最終課題を提出してください	栗田敦子 スポット講師
13	表計算ソフトの活用 (情報処理方法とデータの可視化)⑤	第9回～11回での授業で学んだ内容を踏まえ、見やすい図表を提示する最終課題に取り組みます	演習	授業で提示した最終課題を提出してください この授業の終了時に最終課題の提出を締め切ります	栗田敦子 スポット講師
14	健康課題の抽出	数的データを用いて健康課題の抽出を行う。	講義	大益先生の授業資料を復習して授業に臨んでください。	スポット講師
15	・国民保健の現状 ・保健統計調査	・健康指標、人口動態、人口静態について学習する。 ・基幹統計及びその他の統計調査、医療経済統計について学習する。	講義	日本、山形県の健康指標について目を通しておきましょう	スポット講師

日付

6. 9.27 (金) 4・5
6.10.04 (金) 4・5
6.10.18 (金) 4・5
6.10.25 (金) 4・5
6.11. 1 (金) 5
6.11. 8 (金) 5
6.11.15 (金) 5
6.11.22 (金) 5
6.11.29 (金) 5
7.1.27 (月) 1・2

教科書

「やさしい保健統計学 改訂第5版」 縣俊彦著 (南江堂)

参考書	適宜、指示します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3／看護7
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	栗田敦子：第2共同研究室 akurita@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	国際保健論	科目英語表記	Global Health		
職名、担当教員氏名	教授 佐藤 寿晃				
科目責任者氏名	佐藤 寿晃				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	国際保健論では文化の異なる社会に暮らす人々の健康と人々の置かれている状況を認識し、各諸国の保健システムや国際協力の実際について説明する。				
到達目標	1. 国際保健で用いられる指標の意味と読み方を理解し、世界の健康格差の現状を説明できる。 2. 各諸国の保健医療システムについて理解できる。 3. 国際協力の概要と実際を理解できる。				
成績評価方法	課題レポート（100％）到達目標1～3				
成績評価基準	到達目標1～3を評価する 特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明（表現）できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明（表現）できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明（表現）できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明（表現）できる 目標に到達していない； 説明（表現）できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	国際保健論 総論Ⅰ	グローバルヘルスの基本概念と戦略① 健康の定義 グローバル化の中の国際保健	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
2	国際保健論 総論Ⅱ	グローバルヘルスの基本概念と戦略② プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
3	国際保健論 総論Ⅲ	グローバルヘルスの基本概念と戦略③ 健康の社会的決定要因と健康格差 人権と倫理	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
4	国際保健論 総論Ⅳ	国際保健医療の研究と実践の方法①	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
5	国際保健論 総論Ⅴ	国際保健医療の研究と実践の方法② ポジティブ・デビエンス手法	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
6	国際保健論 総論Ⅵ	実践活動の方法① 住民参加型活動 健康教育	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
7	国際保健論 総論Ⅶ	実践活動の方法② 母子保健・新生児保健・小児保健 メンタルヘルス	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
8	国際保健論 総論Ⅷ	実践活動の方法③ 学校保健 災害医療	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師

9	国際保健論 各論Ⅰ	日本の開発途上国への母子保健協力Ⅰ	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
10	国際保健論 各論Ⅱ	日本の開発途上国への母子保健協力Ⅱ	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
11	国際保健論 各論Ⅲ	日本の開発途上国への母子保健協力Ⅲ	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
12	国際保健論 各論Ⅳ	日本の開発途上国へのリハビリテーション分野の協力Ⅰ	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
13	国際保健論 各論Ⅴ	日本の開発途上国へのリハビリテーション分野の協力Ⅱ	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
14	国際保健論 各論Ⅵ	多職種連携教育	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。 課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 学外講師
15	国際保健論 まとめ	医療従事者の国際協力について、テーマを設定して討議する。	課題を設定してグループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤

日付

集中講義（後日連絡）

教科書	各授業では必要な資料を配付します。
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／理学4／理学5／作業4
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	佐藤寿晃：研究室37 tsato@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	チーム医療論	科目英語表記	Team Approach to Health Care		
職名、担当教員氏名	教授 佐藤 寿晃 教授 遠藤 恵子 教授 渡部 潤一 准教授 鈴木 由美 准教授 丹野 克子 講師 梶谷由美子				
科目責任者氏名	佐藤 寿晃				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	3年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	チーム医療の概念およびチーム医療に参加する専門職の役割について教授するとともに、職種間の相互理解を深めながら協働してチーム医療を実践する能力を養う。				
到達目標	1. チーム医療の概念と主な医療職種の役割を理解し、連携・協働のあり方を説明できる。 2. 事例検討をとおして、自分の職種と「他職種の役割を明確にし、他職種との連携・協働を考察できる。				
成績評価方法	レポート 80%、授業への参加度 20%				
成績評価基準	到達目標1 50% レポート50点で評価 A; 適切で十分な根拠をふまえて、論理的に具体的に説明できる。 B; 適切で十分な根拠をふまえて、論理的に説明できる。 C; 根拠をふまえて、論理的に説明できる。 D; 根拠は不十分で、論理的な説明でない。 F; 説明できない。 到達目標2 50% レポート30点と参加度20点で評価 レポート A; 適切で十分な根拠をふまえて、論理的に具体的に説明できる。 B; 適切で十分な根拠をふまえて、論理的に説明できる。 C; 根拠をふまえて、論理的に説明できる。 D; 根拠は不十分で、論理的な説明でない。 F; 説明できない。 参加度 A; 十分な事前準備をして参加し、グループで建設的な意見交換を行うことができる。 B; 事前準備をして参加し、グループで建設的な意見交換を行うことができる。 C; 事前準備をして参加し、グループで意見交換を行うことができる。 D; 事前準備が不十分で、グループで建設的な意見交換を行うことができない。 F; 事前準備をしていない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	チーム医療論総論Ⅰ	チーム医療とは 各専門職の職能 チーム医療の倫理 チーム医療におけるコミュニケーション	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	上月
2	チーム医療の実際Ⅰ	感染対策チーム 1. 感染対策チームの目的 2. 感染対策チームの構成メンバーとその役割 3. 感染対策チームの実際	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	学外講師
3	チーム医療の実際Ⅱ	在宅医療チーム 1. 在宅医療チームの目的 2. 在宅医療チームの構成メンバーとその役割 3. 在宅医療チームの実際	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	学外講師
4	チーム医療の実際Ⅲ	NSTチーム(栄養) 1. NSTチームの目的 2. NSTチームの構成メンバ	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	学外講師

		一とその役割 3. NSTチームの実際			
5	チーム医療の実際Ⅳ	大規模災害時の支援チーム 1. 大規模災害時の支援チームの目的 2. 大規模災害時の支援チームの構成メンバーとその役割 3. 大規模災害時の支援チームの実際	スライド資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	学外講師
6	事例検討総論	事例検討の進め方 事例紹介	スライド資料および事例紹介用の資料に基づいて学習内容を解説する。	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
7	事例検討Ⅰ（個別）	配布された事例に関する資料に対して 1. 専門用語調べ 2. 事例の全体像を理解する	配布された事例に関する資料に対して、各自で学習内容について調べ学習する。	講義終了後に復習してください。 不足している部分については調べる。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
8	事例検討Ⅱ（各学科：グループワーク）	事例を題材に、専門的立場から分析し、グループ討議により目標設定や適切なアプローチを探る	グループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
9	事例検討Ⅲ（各学科：グループワーク）	事例を題材に、専門的立場から分析し、グループ討議により目標設定や適切なアプローチを探る	グループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
10	事例検討Ⅳ（グループワーク）	事例を題材に、専門的立場から分析し、グループ討議により目標設定や適切なアプローチを探る	グループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
11	事例検討Ⅴ（グループワーク）	事例を題材に、専門的立場から分析し、グループ討議により目標設定や適切なアプローチを探る	グループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
12	事例検討Ⅵ（グループワーク）	事例を題材に、専門的立場から分析し、グループ討議により目標設定や適切なアプローチを探る	グループワーク	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
13	プレゼンテーションⅠ	各班でプレゼンテーションをして、その後、多職種間の連携について討議する。	プレゼンテーション、討議	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
14	プレゼンテーションⅡ	各班でプレゼンテーションをして、その後、多職種間の連携について討議する。	プレゼンテーション、討議	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木 丹野 槌谷
15	プレゼンテーションⅢ	各班でプレゼンテーションをして、その後、多職種間の連携について討議する。	プレゼンテーション、討議	講義終了後に復習してください。	佐藤 遠藤 渡部 鈴木

					丹野 槌谷
日付					
6.4.18 (木) 3					
6.4.25 (木) 3					
6.5.2 (木) 3					
6.5.9 (木) 3					
6.5.16 (木) 3					
6.5.23 (木) 3					
6.5.30 (木) 3					
6.6.6 (木) 3					
6.6.13 (木) 3					
6.6.20 (木) 3					
6.6.27 (木) 3					
6.7.4 (木) 3					
6.7.11 (木) 3					
6.7.18 (木) 3					
6.7.25 (木) 3					

教科書	なし
参考書	実践チーム医療論－実際と教育プログラム－(インタープロフェッショナル・ヘルスケア) 医歯薬出版株式会社
ディプロマ・ ポリシーとの 関連	看護4/理学3/理学5/作業4
先修条件指定 科目	非該当
先修条件指定 科目において あらかじめ修 得しておかな ければならな い科目	該当
実務経験のある 教員	
実務経験をい かした教育内 容	
教員の連絡先	遠藤：研究室20 kendo@yachts.ac.jp 佐藤：研究室37 tsato@yachts.ac.jp 鈴木：研究室30 yusuzuki@yachts.ac.jp 丹野：研究室6 ktanno@yachts.ac.jp 槌谷：研究室29 ytsuchiya@yachts.ac.jp
備考	三学科合同で演習グループを編成するので、学科の枠を超えて積極的に交流し、授業の中でもチーム医療の実践を体験する。

授業科目	高次脳機能障がい論	科目英語表記	Cognitive Dysfunction		
職名、担当教員氏名	教授 外川 佑				
科目責任者氏名	外川 佑				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	看護－選択 理・作－必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・脳の機能と構造について教授する。 ・高次脳機能障がい有する対象者の臨床像について教授する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳の機能と構造を説明できる。 ・高次脳機能障がい有する対象者の障害像を解釈・説明できる。 				
成績評価方法	定期試験（60％）、講義内復習小テスト（40％）をあわせて100点満点として評価する。				
成績評価基準	<p>到達目標1：脳の機能と構造を説明できる</p> <p>特に優れている；脳の機能と構造について詳細に理解し、論理的かつ詳細な記述的説明ができていないA:100～90 優れている；脳の構造と機能についておおよそ理解し、論理的な記述的説明ができていないB:89～80 良好である；脳の構造と機能についておおよそ理解し、論理的には不十分であるものの要点を捉えた記述的説明ができていないC:79～70 最低限の到達；脳の構造と機能についておおよそ理解し、論理的には不十分であるものの必要最低限の記述的説明ができていないD:69～60 目標に到達していない；説明できないF59～0</p> <p>到達目標2：高次脳機能障がい有する対象者の障害像を解釈・説明できる。</p> <p>特に優れている；高次脳機能障がい有する対象者の障害像を詳細に解釈し、論理的かつ詳細な記述的説明ができていないA:100～90 優れている；高次脳機能障がい有する対象者の障害像をおおよそ解釈し、論理的な記述的説明ができていないB:89～80 良好である；高次脳機能障がい有する対象者の障害像をおおよそ解釈し、論理的には不十分であるものの要点を捉えた記述的説明ができていないC:79～70 最低限の到達；高次脳機能障がい有する対象者の障害像をおおよそ解釈し、論理的には不十分であるものの必要最低限の記述的説明ができていないD:69～60 目標に到達していない；説明できないF59～0</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	高次脳機能障がい学総論	高次脳機能障がいの概要、脳の構造と機能、大脳動脈とその灌流領域	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。 授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川
2	注意障がい	注意機能の分類と症状、注意障がいの責任病巣、注意障がいの評価、注意障がいに対する支援	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。 授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川
3	半側空間無視とその関連症状	半側空間無視の症状と評価、半側空間無視の責任病巣、半側空間無視に対する支援、身体に対する無視症候群、バリエーション症候群	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。 授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川
4	認知の障害	失認の症状と評価、失認の責任病巣、失認に対する支援	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。 授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川
5	行為・行動の障がい	失行の症状と評価、失行の責任病巣、失行に対する支援、動作の抑制・開始・出力・維持の障がい	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。 授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川

6	言語障がい	失語症患者の言語症状、失語症のタイプ分類、失語の評価、失語に対する支援	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川
7	記憶障がい	記憶のプロセス、記憶の分類、記憶障がいの評価、記憶障がいに対する支援	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川
8	遂行機能障がい	遂行機能の要素、遂行機能障がいの症状と評価、遂行機能障がいに対する支援	講義	覚えることが多いので、復習をしっかりとってください。授業に臨むにあたって、関連図書を読んでおくとう理解が進みやすいです。	外川

日付

6.4.18 (木) 3
6.4.25 (木) 3
6.5. 2 (木) 3
6.5. 9 (木) 3
6.5.16 (木) 3
6.5.23 (木) 3
6.5.30 (木) 3
6.6. 6 (木) 3

教科書	教科書は指定しない。適宜、資料を配布する。
参考書	石合純夫：高次脳機能障害学 第3版 医歯薬出版社 平山和美：高次脳機能障害の理解と診察 中外医学社 大槻閑人、子鹿ゆずる：アンメット-ある脳外科医の日記- 講談社
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学2/理学5/作業2/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	外川 佑：研究室28 tsotokawa@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	精神障がい論	科目英語表記	Mental Disorder		
職名、担当教員氏名	教授 安保 寛明 教授 菊池 昭夫 講師 佐々木 学				
科目責任者氏名	安保 寛明				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	精神の健康が障がいされた状態あるいは精神機能が障害された状態について、生理・心理・社会的な要因の影響とその影響を教授するとともに精神科医療や精神保健福祉における診断、治療、リハビリテーションの構造を教授する。 また、精神機能の低下によって本人や周囲の人が経験しやすい事項と障がいによる危機と回復の経過について、社会的包摂やチーム医療、地域連携などの観点から教授する。				
到達目標	精神症状の適切な査定と背景の推察ができ、精神症状を有する人への基本的な対応が記述できる。 脳の機能としての精神機能の構造とその障がいについて記述できる。 社会的包摂の観点から精神障がいや精神症状によりQOLの低下を持つ人に対する配慮について記述できる。				
成績評価方法	定期試験90%（筆記）、講義への参加度10%				
成績評価基準	定期試験は、精神保健、精神疾患、社会的包摂などの知識を評価する。 主要な評価項目と基準 1) 主要な精神疾患・精神障がいの構造・診断・治療に関する事項 統合失調症・気分障害・依存症および行動障害の診断に関する問題に回答できること 統合失調症・気分障害・依存症および行動障害の治療に関する問題に回答できること 2) 器質的な脳機能の低下や変化に伴う精神機能の低下に関する事項 高次脳機能障害、加齢性の精神障がい（認知症やせん妄など）の診断に関する問題に回答できること 高次脳機能障害、加齢性の精神障がい（認知症やせん妄など）の治療や援助に関する問題に回答できること 3) 精神障がいや精神症状を有する人の合理的配慮や社会的包摂について、 背景を問う知識に関する問題に回答できること 以上は試験によって評価し、100点満点を90点満点に換算することで評価とする。 講義への参加度については、授業を通じた発見を記述する課題などを通じて思考力を評価する。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	老年期における精神障害（Ⅰ）	老年期における精神機能の変化と特徴的な疾患 * 授業項目の順番や内容は変更になる可能性があります。	パワーポイント、ビデオなどを使用した講義形式	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	菊池
2	精神障がい基礎総論、社会的リハビリテーション	精神障がいの社会的側面 アンチスティグマの必要性	パワーポイント、ビデオなどを使用した講義形式	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	佐々木
3	老年期における精神障害（Ⅱ）	老年期における精神機能の変化と特徴的な疾患	パワーポイント、ビデオなどを使用した講義形式	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	菊池
4	地域精神保健、精神障がいリハビリテーション	障がいの社会的側面 精神障がいのある人のリハビリテーション	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	佐々木
5	身体因性精神障害	高次脳機能障害などの器質性精神障害	パワーポイント、ビデオなどを使用した講義形式	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	菊池
6	身体因性精神障害	高次脳機能障害などの器質性精神障害	パワーポイント、ビデオなどを使用した講義形式	学習内容を踏まえて、援助の必要な人や場面を想起した事例検討を各自で行うこと	菊池
7	行動障害（依存症など）の患者の診断と	依存症などの行動障害に関する診断と治療過程	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得	スポット（小林）

	治療（Ⅰ）			に努めること。	
8	気分障害圏の患者の診断と治療（Ⅰ）	うつ病などの気分障害圏の診断と治療	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	スポット（井上）
9	統合失調症圏の患者の診断と治療（Ⅰ）	統合失調症などの認知機能の障がい診断と治療	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	スポット（後藤）
10	行動障害（依存症など）の患者の診断と治療（Ⅱ）	行動障害の診断と治療 回復過程とそのための援助	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	スポット（小林）
11	統合失調症圏の患者の診断と治療（Ⅱ）	統合失調症の診断とその人の治療 回復過程とそのための援助	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	スポット（後藤）
12	気分障害圏の患者の診断と治療（Ⅱ）	気分障害圏の患者の診断と治療 回復過程	講義	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	スポット（井上）
13	地域精神保健、社会的包摂（Ⅰ）	精神障がいのある人の社会的側面の回復 社会的包摂の考え方	講義（一部演習）		安保
14	精神障がいのある人の回復 社会的包摂（Ⅱ）	精神障がいのある人の社会的側面の回復 社会的包摂の考え方	講義（一部演習）	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	安保
15	生理心理社会モデル 社会的リハビリテーション	精神障がいで扱われた内容を統合するための生理心理社会モデル	講義（一部演習）	講義の内容を学習ノートにまとめるなどして、知識の獲得に努めること。	安保

日付

6.4.12 (金) 5
6.4.17 (水) 2
6.4.19 (金) 5
6.4.24 (水) 2
6.4.26 (金) 5
6.5. 8 (水) 2
6.5.10 (金) 5
6.5.22 (水) 2
6.5.29 (水) 2
6.6. 5 (水) 2
6.6.12 (水) 2
6.6.19 (水) 2
6.6.26 (水) 2
6.7. 3 (水) 2
6.7.17 (水) 2

教科書	
参考書	参考図書 谷岡哲也他、メディカルスタッフのための精神医学、中外医学社（看護学科、理学療法学科） 大熊輝男、現代臨床精神医学、金原出版株式会社（作業療法学科）
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3／理学2／理学5／作業2／作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	

実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	安 保：研究室15 hambo@yachts.ac.jp 菊 池：研究室38 akikuchi@yachts.ac.jp 佐々木：研究室19 msasaki@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	小児疾病論	科目英語表記	Pediatric Diseases		
職名、担当教員氏名	教授 石川 仁 非常勤講師 鈴木恵美子 非常勤講師 森 福治				
科目責任者氏名	石川 仁				
学内連絡教員氏名	石川 仁、貝野瀬 友希				
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	出生前、新生児、乳児期、幼児期、学童期、思春期に至る小児の成長・発達を踏まえ、小児における代表的疾患について病態と治療を学び、その特質についての理解を深め、看護への手がかりとする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・染色体異常に基づく疾患を列挙し、その臨床徴候を概説できる ・胎児期における障がいとその対応を説明できる ・小児期における主たる感染症を列挙し、その起因微生物、感染経路、徴候、診断、治療、予防法を説明できる ・小児感染症の集団発生事例への対応を説明できる ・予防接種の対象疾患、意義および副反応等への対応を説明できる ・小児期のアレルギー疾患を分類し、各々の特徴を説明できる ・各種免疫不全症の病態、診断法を説明できる ・小児期における主たる膠原病を概説できる ・小児期における主要な腎・泌尿器疾患を列挙し、その特徴、診断、治療法を説明できる ・小児期における主要な生殖器疾患を列挙し、その特徴、診断、治療法を説明できる ・小児期における主要な内分泌疾患を列挙し、その特徴、診断、治療法を説明できる ・小児期における主要な呼吸器疾患を列挙し、その特徴、診断、治療法を説明できる ・小児期における主要な消化器疾患を列挙し、その臨床的特徴、診断、治療法を説明できる ・小児期における主要な血液疾患を列挙し、その特徴、検査診断法、治療法を説明できる ・小児期の非造血系悪性腫瘍について、その病理、臨床的特徴、診断、治療法を概説できる ・小児期における主要な循環器疾患、とくに先天性心疾患を列挙し、その臨床的特徴、診断、治療法を説明できる ・川崎病の診断基準と治療、対応を説明できる ・小児期における主要な代謝異常を列挙し、その臨床的特徴、診断、治療法を説明できる ・小児の運動器・整形外科疾患の診断、治療を概説できる ・小児の神経疾患の特徴、対応を説明できる ・小児の精神神経疾患における臨床徴候や対応を述べることができる ・発達障がい、重症心身障がいおよび知的障がいなどの分類・診断ができる ・耳鼻咽喉領域における小児疾患の特徴を説明できる 				
成績評価方法	知識の定着度や理解度の評価は定期試験（筆記試験）の成績で評価する。 評価時期は定期試験1回のみとする。尚、合格基準は100点満点に換算して、60点以上をもって合格とする。				
成績評価基準	到達目標をすべて説明できる。 特に優れている：積極的に授業へ参加し到達目標を適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる。 優れている：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を踏まえて論理的に説明できる。 良好である：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を用いてある程度論理的に説明できる。 最低限の到達：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる。 目標に到達していない：説明できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	授業オリエンテーション 小児感染症の集団発生事例への対応	小児疾患の中で集団感染事例の届け出が多い疾患について学ぶ	講義	小児疾患の中で集団感染事例の届け出が多い疾患について予習する 集団発生事例の終息に必要な対応は何かを復習する	石川
2	呼吸器疾患・消化器疾患と感染症	小児疾患の中で呼吸器疾患・消化器疾患・感染症について学ぶ	講義	小児の呼吸器疾患・消化器疾患・感染症の病態を中心に予習する 小児の呼吸器疾患・消化器疾患・感染症について予防法、臨床像、診断、治療を復習する	鈴木（恵）
3	新生児疾患・染色体異常	新生児疾患・染色体異常について学ぶ	講義	新生児疾患・染色体異常にはどのようなものがあるのか予	森（福）

				習する 新生児疾患・染色体異常の症 状、診断、治療を復習する	
4	内分泌・代謝性疾 患、免疫・アレルギー 疾患	内分泌・代謝性疾患、免疫・ アレルギー疾患について学ぶ	講義	内分泌・代謝性疾患、免疫・ アレルギー疾患にはどのよう なものがあるのか予習する 内分泌・代謝性疾患、免疫・ アレルギー疾患の臨床像、診 断、治療を復習する	森（福）
5	循環器疾患（1）川 崎病	川崎病について学ぶ	講義	川崎病の病態を予習する 川崎病の症状、診断、治療を 復習する	鈴木（恵）
6	腎臓・泌尿器疾患	腎臓・泌尿器疾患について学 ぶ	講義	腎臓・泌尿器疾患にはどのよ うなものがあるか予習する 腎臓・泌尿器疾患の臨床像、 診断、治療を復習する	森（福）
7	循環器疾患（2） 先天性心疾患と心臓 検診	先天性心疾患と心臓検診につ いて学ぶ	講義	先天性心疾患にはどのよう なものがあるか予習する 先天性心疾患の臨床像、診 断、治療、心臓検診の目的を 復習する	鈴木（恵）
8	耳鼻咽喉科領域の疾 患	小児領域の耳鼻咽喉科領域の 疾患について学ぶ	講義	小児領域の耳鼻咽喉科領域疾 患にはどのようなものがある か予習する 小児領域の耳鼻咽喉科領域疾 患の臨床像、診断、治療を復 習する	スポット （青柳優）
9	神経疾患・発達障が い（1）	小児発達学総論について学ぶ	講義	身体的発達、精神的（知的） 発達、心理・対人面の発達に はどのようなものがあるか予 習する それぞれの発達の経時的な変 化の特徴を復習する	スポット （山大小児科）
10	神経疾患・発達障が い（2）	二分脊椎、小児奇形、先天性 多発性関節拘縮症、分娩麻痺 などについて学ぶ	講義	二分脊椎、小児奇形、先天性 多発性関節拘縮症、分娩麻痺 にはどのようなものがあるか 予習する 二分脊椎、小児奇形、先天性 多発性関節拘縮症、分娩麻痺 などの臨床像、診断、治療を 復習する	スポット （山大小児科）
11	神経疾患・発達障が い（3）	小児神経疾患、脳性麻痺、重 症心身障害児、小児てんか ん、神経皮膚症候群などにつ いて学ぶ	講義	小児神経疾患、脳性麻痺、重 症心身障害児、小児てんか ん、神経皮膚症候群にはどの ようなものがあるか予習する 小児神経疾患、脳性麻痺、重 症心身障害児、小児てんか ん、神経皮膚症候群などの臨 床像、診断、治療を復習する	スポット （山大小児科）
12	血液・造血器疾患、悪 性新生物	血液・造血器疾患、悪性新生 物について学ぶ	講義	血液・造血器疾患、悪性新生 物疾患にはどのようなもの があるか予習する 血液・造血器疾患、悪性新生 物疾患の臨床像、診断、治療 を復習する	スポット （前田邦彦）
13	小児歯科・口腔疾患	小児歯科・口腔について学ぶ	講義	小児歯科・口腔疾患にはどの ようなものがあるか予習する 小児歯科・口腔疾患の臨床 像、診断、治療を復習する	スポット （石川恵生）
14	小児の精神疾患・発 達障がい	小児の精神疾患・発達障がい を学ぶ	講義	小児の精神疾患・発達障がい にはどのようなものがあるか 予習する 小児の精神疾患・発達障がい の臨床像、診断、治療を復 習する	スポット （有海清彦）

15	小児の運動器・整形外科疾患	小児の運動器・整形外科疾患を学ぶ	講義	小児の運動器・整形外科疾患にはどのようなものがあるか予習する 小児の運動器・整形外科疾患の臨床像、診断、治療を復習する	スポット (金内ゆみ子)
----	---------------	------------------	----	--	-----------------

日付

6. 4.12 (金) 4
6. 4.17 (水) 5
6. 4.24 (水) 5
6. 5. 1 (水) 5
6. 5. 8 (水) 5
6. 5.15 (水) 5
6. 5.22 (水) 5
6. 5.29 (水) 5
6. 6. 5 (水) 5
6. 6.12 (水) 5
6. 6.14 (金) 2
6. 6.19 (水) 5
6. 6.26 (水) 5
6. 7.10 (水) 5
6. 7.17 (水) 5

教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (医学書院)
参考書	各講義において、紹介する
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	石川 仁：研究室24 hishikawa@yachts.ac.jp 貝野瀬友希：第2共同研究室 ykainose@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	運動器障がい論	科目英語表記	Movement Disorder		
職名、担当教員氏名	教授 村 成幸				
科目責任者氏名	村 成幸				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	骨・関節・靭帯・筋腱・脊髄末梢神経の機能とその障害における病態、診断、治療について詳細に解説する				
到達目標	1. 主な関節疾患の病態や症状について説明できる 2. 主な脊椎疾患の病態や症状が説明でき、麻痺の程度を認識できる 3. 四肢外傷の症状や合併症を説明できる 4. 骨、関節疾患に関する基本的検査の意味を理解できる 5. 運動器障がいへの医療が人間のQOLの維持・向上に大きく寄与していることを認識する				
成績評価方法	期末テスト（90％）と授業への参加度（10％）で評価する。				
成績評価基準	到達目標 1～5 特に優れている：適切で十分な根拠をふまえて運動器障がいの病態・治療について十分な説明できる 優れている：根拠をふまえて運動器障がいの病態・治療について説明できる 良好である：根拠とともに運動器障がいの病態・治療についてある程度説明できる 最低限の到達：根拠は乏しいがある程度運動器障がいの病態・治療について説明できる 目標に到達していない：説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	運動器障がいの基礎、外傷総論	骨・関節・筋・末梢神経の解剖生理 骨折・骨端線損傷・脱臼・捻挫・靭帯損傷・腱損傷・肉離れ・神経断裂・血管損傷の病態・症候・治療	スライド・プリントを使用して病態を学習する。 実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
2	骨代謝 骨粗しょう症	骨代謝と骨粗しょう症の病態生理について学習する。 骨粗しょう症に伴う骨折について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。 実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
3	変形性関節症 ロコモティブシンドローム	変形性関節症の病態、病理、症候、治療について学習する。 ロコモティブシンドロームについて学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。 実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
4	関節リウマチと類縁疾患	関節リウマチの病態、症状、治療、リハビリテーションについて学習する 関節リウマチ類似する疾患の症候と特徴について学習する	スライド・プリントを使用して病態を学習する。 実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
5	脊椎診断学 脊椎・脊髄損傷	脊椎・脊髄疾患、外傷についての神経学的診断学について学習する。 脊椎・脊髄損傷の病態、症候、合併症について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。 実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
6	脊椎・脊髄疾患	代表的な脊椎疾患について、病態生理、症状、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。 実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸

7	末梢神経障害	腕神経叢損傷と絞扼性神経障害の病態、症状、診断、治療について学習する	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
8	血行障害	運動器の血行障害について、病態、症候、画像所見、診断、治療を学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
9	上肢（肩甲帯、肩関節）	上肢（肩）の正常機能、外傷、疾患の病態、画像所見、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
10	上肢（肘関節、手、手関節）	上肢（肘・手関節・手）の正常機能、外傷、疾患の病態、画像所見、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
11	骨盤・股関節	骨盤・股関節の正常機能、外傷、疾患の病態、画像所見、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
12	下肢（膝関節）	下肢（膝）の正常機能、外傷、疾患の病態、画像所見、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
13	下肢（足関節・足）	足関節・足の正常機能、外傷、疾患の病態、画像所見、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
14	骨・軟部腫瘍	骨・軟部腫瘍の画像所見、診断、治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸
15	運動器の先天異常 手の外傷	運動器の先天異常の画像所見、診断、治療について学習する。 手の外傷の治療について学習する。	スライド・プリントを使用して病態を学習する。実際の症例の画像、写真を通して学習する。	生体形態学における内容の理解、知識は必須です。各部位の復習をしながら講義に臨んでください。	村 成幸

日付

6.9.26 (木) 3
6.9.26 (木) 4
6.10.3 (木) 3
6.10.3 (木) 4
6.10.10 (木) 3
6.10.10 (木) 4
6.10.17 (木) 3
6.10.17 (木) 4
6.10.24 (木) 3
6.10.24 (木) 4
6.10.31 (木) 3
6.10.31 (木) 4
6.11.7 (木) 3
6.11.7 (木) 4
6.11.14 (木) 3

教科書	標準整形外科学（医学書院）
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2／理学5／作業2／作業3
先修条件指定科目	非該当

先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	村 成幸：研究室35 nmura@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	発達障がい論		科目英語表記	Developmental Disorder	
職名、担当教員氏名	非常勤講師 二瓶 健次 平元 東 井田 英雄				
科目責任者氏名	石川 仁				
学内連絡教員氏名	石川 仁：研究室24 hishikawa@yachts.ac.jp 森 直樹：研究室34 nmori@yachts.ac.jp				
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	子どもの一般的な発達について、“一般的な”発達ができない子どもたちについて事例を交えて講義します。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大まかな小児の発達を理解する ・ 具体的な疾患とその症状、合併症などについて理解する ・ 療育に関する見解を深める 				
成績評価方法	知識の定着度や理解度の評価は定期試験（筆記試験）の成績で評価する。評価時期は定期試験1回のみとする。尚、合格基準は100点満点に換算して、60点以上をもって合格とする。				
成績評価基準	<p>到達目標をすべて説明できる。 特に優れている：積極的に授業へ参加し到達目標を適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる。 優れている：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を踏まえて論理的に説明できる。 良好である：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を用いてある程度論理的に説明できる。 最低限の到達：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる。 目標に到達していない：説明できない。</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	自閉性障害	自閉性障害について学ぶ	講義	自閉性障害にはどのようなものがあるか予習する 自閉性障害の臨床像、診断、治療を復習する	二瓶
2	学習障害、注意欠如・多動症	学習障害、注意欠如・多動症について学ぶ	講義	学習障害、注意欠如・多動症にはどのようなものがあるか予習する 学習障害、注意欠如・多動の臨床像、診断、治療を復習する	二瓶
3	小児内部障害、小児癩など	小児内部障害、小児癩などについて学ぶ	講義	小児内部障害、小児癩にはどのようなものがあるか予習する 小児内部障害、小児癩の臨床像、診断、治療を復習する	二瓶
4	重症心身障害	重症心身障害について学ぶ	講義	重症心身障害にはどのようなものがあるか予習する 重症心身障害の臨床像、診断、治療を復習する	平元
5	知的障害	知的障害について学ぶ	講義	知的障害にはどのようなものがあるか予習する 知的障害の臨床像、診断、治療を復習する	平元
6	NICU	NICUについて学ぶ	講義	NICUで治療・療養される疾患について予習する NICUで治療・療養される疾患の臨床像、診断、治療を復習する	平元
7	神経疾患・発達障がい（1）	小児発達学総論について学ぶ	講義	身体的発達、精神的（知的）発達、心理・対人面の発達にはどのようなものがあるか予	スポット （山大小児科）

				習する それぞれの発達の経時的な変化の特徴を復習する	
8	神経疾患・発達障がい(2)	二分脊椎、小児奇形、先天性多発性関節拘縮症、分娩麻痺などについて学ぶ	講義	二分脊椎、小児奇形、先天性多発性関節拘縮症、分娩麻痺にはどのようなものがあるか予習する 二分脊椎、小児奇形、先天性多発性関節拘縮症、分娩麻痺などの臨床像、診断、治療を復習する	スポット (山大小児科)
9	神経疾患・発達障がい(3)	小児神経疾患、脳性麻痺、重症心身障害児、小児てんかん、神経皮膚症候群などについて学ぶ	講義	小児神経疾患、脳性麻痺、重症心身障害児、小児てんかん、神経皮膚症候群にはどのようなものがあるか予習する 小児神経疾患、脳性麻痺、重症心身障害児、小児てんかん、神経皮膚症候群などの臨床像、診断、治療を復習する	スポット (山大小児科)
10	肢体不自由児施設のリハビリテーション	肢体不自由児施設のリハビリテーションについて学ぶ	講義	肢体不自由児施設のリハビリテーションにはどのようなものがあるか予習する 肢体不自由児施設でのリハビリテーションの内容を復習する	井田
11	脳性麻痺	脳性麻痺について学ぶ	講義	脳性麻痺にはどのようなものがあるか予習する 脳性麻痺の臨床像、診断、治療を復習する	井田
12	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーについて学ぶ	講義	筋ジストロフィーにはどのようなものがあるか予習する 筋ジストロフィーの臨床像、診断、治療を復習する	井田
13	二分脊椎、骨系統疾患	二分脊椎、骨系統疾患について学ぶ	講義	二分脊椎、骨系統疾患にはどのようなものがあるか予習する 二分脊椎、骨系統疾患の臨床像、診断、治療を復習する	井田
14	障がい児に対する補装具	障がい児に対する補装具について学ぶ	講義	障がい児に対する補装具にはどのようなものがあるか予習する 障がい児に対する補装具の種類、適応、課題などを復習する	井田
15	障がい児に対する手術	障がい児に対する手術について学ぶ	講義	障がい児に対する手術にはどのようなものがあるか予習する 障がい児に対する手術の適応や留意点、および術法などを復習する	井田

日付

第1～3回 後日連絡

6.5.21(火) 3

6.6. 4(火) 3

6.6. 5(水) 5

6.6.11(火) 3

6.6.12(水) 5

6.6.19(水) 5

6.6.25(火) 3

6.7. 2(火) 3

6.7. 9(火) 3

6.7.10(水) 5

6.7.11(木) 1・2

教科書	必要であれば各講師から説明します。
-----	-------------------

参考書	標準リハビリテーション医学（医学書院）、現代リハビリテーション医学（金原出版）、 小児リハビリテーションポケットマニュアル（診断と治療社） ほか
ディプロマ・ ポリシーとの 関連	理学2／理学5／作業2／作業3
先修条件指定 科目	非該当
先修条件指定 科目において あらかじめ修 得しておかな ければならな い科目	非該当
実務経験のある 教員	
実務経験をい かした教育内 容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	

授業科目	神経障がい論		科目英語表記	Neurological Disorder		
職名、担当教員氏名	菊池 昭夫					
科目責任者氏名	菊池 昭夫					
学内連絡教員氏名	菊池 昭夫					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年			
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修			
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位	
授業概要	神経系の構造・機能を詳しく講義する。神経系の各種の障がいの病態機序を講義する。神経学的診察、診断の方法を講義する。各神経疾患の病因、症状、診断、治療について講義する。					
到達目標	神経系の構造・機能、神経系の各種の障がいの病態機序、神経学的診察、診断の方法、各神経疾患の病因、症状、診断、治療について、実演や図を用いて説明できる。					
成績評価方法	筆記試験（授業内における小テストのみ）：100点満点中60点以上を合格とする。					
成績評価基準	A（特に優れている）：積極的に授業へ参加し到達目標を適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる。 B（優れている）：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を踏まえて論理的に説明できる。 C（良好である）：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠を用いてある程度論理的に説明できる。 D（最低限の到達）：積極的に授業へ参加し到達目標を根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる。 E（目標に到達していない）：説明できない。					

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	神経系の構造と機能	神経系の全体像と大脳の構造について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経系の構造や機能について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「神経系の構造と機能」を読んでおいてください。	菊池
2	神経系の構造と機能	脳幹や基底核、視床などの構造と機能について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経系の構造や機能について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「神経系の構造と機能」を読んでおいてください。	菊池
3	意識・脳神経・運動・感覚	意識・脳神経・運動（筋力や筋萎縮）・感覚（表在覚や深部覚）について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経系の機能について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「脳神経とその障害」「運動・感覚・自律神経」を読んでおいてください。	菊池
4	小脳・歩行・反射	小脳の機能・歩行の種類・反射（腱反射や病的反射）について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経系の機能について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「神経系の構造と機能」を読んでおいてください。	菊池
5	症候・検査	症候（発症形式）や検査（髄液、画像）について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経疾患の症候と検査について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「症候と検査」を読んでおいてください。	菊池
6	脳血管障害・神経感染症	脳血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）・神経感染症（ウイルス、細菌、真菌、結核菌）について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経疾患について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「脳動脈と脳血管障害」「感染性疾患」を読んでおいてください。	菊池
7	神経変性疾患	神経変性疾患（パーキンソン病、パーキンソン病関連疾患、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症）について学習する。	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経疾患について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「神経変性疾患」を読んでおいてください。	菊池
8	脱髄性疾患・末梢神経疾患・筋疾患	脱髄性疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎）・末梢神経疾患（ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー）・筋疾患（筋ジ	スライド、プリント、動画、実演などを行いながら、神経疾患について学習する。	病気がみえる Vol.7 脳・神経第2版「脱髄性疾患」「末梢神経とその障害」「筋疾患」を読んでおいてください。	菊池

	ストロフィー、多発筋炎) について学習する。		
日付			
6.4.18 (木) 4・5			
6.4.25 (木) 4・5			
6.5.2 (木) 4・5			
6.5.9 (木) 4・5			
6.5.16 (木) 4・5			
6.5.23 (木) 4・5			
6.5.30 (木) 4・5			
6.6.6 (木) 4			

教科書	病気がみえる Vol.7 脳・神経 第2版 (メディックメディア)
参考書	奈良勲、鎌倉矩子監 川平和美著「標準理学療法学・作業療法学・神経内科学」(医学書院)
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2/理学5/作業2/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	菊池昭夫：研究室38 akikuchi@yachts.ac.jp
備考	丸暗記ではなく、考え方をよく理解して覚えてください。

授業科目	社会福祉論	科目英語表記	Social Welfare		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 高梨 友也 非常勤講師 千脇 隆志				
科目責任者氏名	高梨 友也				
学内連絡教員氏名	丹野 克子				
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	専門基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と福祉の始まりから専門分化の過程について解説し、制度面を確認したうえで少子高齢化と人口減少社会における医療・保健・福祉およびリハビリテーションにおける多職種連携の必要性について講義する。 ・自立支援、就労支援、地域包括ケアおよび共生社会のあり方と推進方法について講義する。 ・対人援助職に必要な人間観・援助観について講義し、各自が自分なりの人間観・援助観について考察を深め、自身の今後に繋げていく講義とする。 				
到達目標	看護学科ディプロマポリシー（DP）3、理学療法学科DP3・5、作業療法学科DP4に関連し、 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉と社会保障の基本的な考え方と仕組みを説明することができる。 ・医療の現場に求められる社会福祉と社会保障の制度や知識を抽出することができる。 ・医療と福祉の連携の必要性を理解し、現在進められている連携のあり方について述べるすることができる。 ・社会福祉援助技術の医療現場への活用について説明することができる。 ・自立支援、就労支援、地域包括ケア、共生社会のあり方を説明し、その推進に寄与できる。 				
成績評価方法	到達目標の到達度を以下の方法で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験（記述式）：50% ・授業内レポート（事例や資料映像、課題などを提示し、そのことについて思考を深め、自分の考えをレポートとして提出する。複数回行う。）：20% ・ミニッツペーパー（毎回の授業で学んだことや考えたことを提出する）：30% 				
成績評価基準	定期試験50点配点、授業内レポート20点配点、毎回の授業の振り返り（ミニッツペーパー）30点配点とし、合計得点を用いて、以下の基準で成績を評価する。 A：100点～90点 B：89点～80点 C：79点～70点 D：69点～60点 F：59点以下 AからFについては下記の基準で評価する。 特に優れている（A）；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている（B）； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である（C）； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達（D）； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない（F）；説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	授業ガイダンス 社会福祉の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ガイダンス ・社会福祉の歴史を学ぶ 	講義	予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。 復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 社会福祉の歴史を概観することで、そこに現れてくる	高梨

				「医療と福祉の歴史」の持つ意義を確認する。	
2	社会保障の概観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の概観を学ぶ ・ 社会保障の現状を理解する 	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 自分や関係者の生活における社会保障について確認し、これまでとこれからの日常生活に結びつける。</p>	高梨
3	社会福祉の概観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉の概観を学ぶ ・ 福祉と医療の視点の違いを学ぶ 	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 日常生活の中における「普遍的な社会福祉」について確認する。</p>	高梨
4	医療保障制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療保障制度について学ぶ 	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 医療の歴史と現状の課題について認識を深める。</p>	千脇
5	介護保険制度（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度について学ぶ 	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲</p>	千脇

				<p>囲を照合し、内容について復習する。</p> <p>事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。</p> <p>現代日本において介護保険制度が創設された背景と、現在の位置づけについて認識を深める。</p>	
6	介護保険制度（2）	・介護保険制度について学ぶ	講義	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。</p> <p>教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習</p> <p>配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。</p> <p>事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。</p> <p>介護保険制度の内容と認定・利用状況等から、現状と課題について確認する。</p>	千脇
7	障害者福祉の現状	・障害者福祉の現状を学ぶ	講義	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。</p> <p>教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習</p> <p>配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。</p> <p>事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。</p> <p>障害者が置かれてきた歴史と、現状の課題について確認する。</p>	千脇
8	社会福祉援助技術（1）	・事例や課題への対応や援助技術を学ぶ	講義・演習	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。</p> <p>教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習</p> <p>配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。</p> <p>事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。</p> <p>社会福祉援助技術の有用性や効果についての認識を深める。</p>	高梨
9	社会福祉援助技術（2）	・事例や課題への対応や援助技術を学ぶ	講義・演習	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。</p> <p>教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを</p>	千脇

				<p>持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 社会福祉援助技術の医療現場への活用について検討する。</p>	
10	児童家庭福祉の現状	・児童家庭福祉の現状を学ぶ	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 児童が置かれている現状と、児童を取り巻く家庭を中心とした環境の現状と課題について認識を深める。</p>	千脇
11	所得保障制度	・所得保障について学ぶ	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 日本における所得保障の現状と課題について確認する。</p>	高梨
12	高齢者福祉制度	・介護保険以外の高齢者福祉制度を学ぶ	講義	<p>予習 教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習 配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 日本における少子高齢社会の影響とともに高齢者を取り</p>	高梨

				巻く現状と課題について確認する。	
13	多職種連携の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携が対象者の利益になることを理解し、具体的な場面を想定し、連携に必要な要素と自分の役割について考察する。 ・共生社会の実現に向けた就労支援や地域包括ケアのあり方を学び、その推進に必要な要素を学ぶと同時に自分の役割を考察する。 	講義 演習 討論	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習</p> <p>配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 現代の多様性社会における多職種連携の意義について理解し、その実現に必要な連携について確認する。</p>	高梨
14	公的扶助制度	<ul style="list-style-type: none"> ・公的扶助制度を学ぶ 	講義	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習</p> <p>配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 日本における公的扶助の現状と課題について確認する。</p>	高梨
15	多職種連携のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携が対象者の利益になることを理解し、具体的な場面を想定し、連携に必要な要素と自分の役割について考察する。 ・共生社会の実現に向けた就労支援や地域包括ケアのあり方を学び、その推進に必要な要素を学ぶと同時に自分の役割を考察する。 	講義 演習 討論	<p>予習</p> <p>教科書の該当範囲について読んでから授業に参加する。 教科書を読み、自分なりに該当範囲についてイメージを持って授業に参加することにより、授業にてそれを確認・検証する。</p> <p>復習</p> <p>配布資料と教科書の該当範囲を照合し、内容について復習する。 事前に自身で描いたイメージと、授業にて検証した結果を自分なりにまとめる。 患者・クライアントの生活の質の向上のための取り組み（多職種連携）であることを理解し、その必要性を確認する。</p>	高梨

日付

6.4. 8 (月) 5
6.4.15 (月) 5
6.4.22 (月) 5
6.5.13 (月) 5
6.5.20 (月) 5
6.5.27 (月) 5
6.6. 3 (月) 5

6.6.10 (月) 5
 6.6.17 (月) 5
 6.6.24 (月) 5
 6.7. 1 (月) 5
 6.7. 8 (月) 5
 6.7.22 (月) 5
 6.7.23 (火) 5
 6.7.29 (月) 5

教科書	系統看護学講座専門基礎課程社会保障・社会福祉～健康支援と社会保障制度③ (医学書院)
参考書	随時資料・情報提供
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護3/理学3/理学5/作業4
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	高梨友也 : t_takanashi@t-bunkyo.ac.jp 丹野克子 : ktanno@yachts.ac.jp
備考	